

## 歩掛参考見積等募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和7年6月23日

独立行政法人水資源機構  
筑後川上流総合管理所長 前田 剛宏

### 1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、両筑平野用水事業で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛及び施工単価を募集するものです。

### 2. 参考見積書提出者の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者のうち土木関係建設コンサルタント業務の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、筑後川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

### 3. 参考見積書の提出等

参考見積書は次により提出してください。

- (1) 参考見積書は作業項目毎に必要な作業員（技術者）の人数等を記載して提出してください。  
なお、参考見積書の様式は別紙様式のとおりとしてください。
- (2) 提出期間 令和7年7月3日（木）から令和7年7月9日（水）まで  
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時00分から17時00分まで（12時00分から13時00分までを除く）
- (3) 提出先  
独立行政法人水資源機構筑後川上流総合管理所 所長 前田 剛宏 宛  
【担当】両筑平野用水管理所  
〒838-0012  
福岡県朝倉市江川 1660-67  
TEL 0946 (25) 0113 FAX 0946 (25) 0133
- (4) 提出方法  
参考見積書は持参、郵送又は FAX（いずれの場合であっても社印があること）により提出するものとします。

### 4. 参考見積内容

- (1) 基本条件  
歩掛参考見積は、実績等に基づくものを参考に積み上げた標準的な歩掛とします。
- (2) 業務目的  
本業務は、両筑平野用水施設におけるストックマネジメントに係る機能診断調査及び当該

結果に基づき施設機能保全計画書の策定を行うものです。

ダムにおいては UAV（Unmanned Aerial Vehicle）による撮影および近接目視調査、排水できない管水路においては管内面の ROV（Remotely Operated Vehicle）による撮影、排水可能なパイプラインにおいては近接目視、たわみ量調査等の調査を行うものとします。

また、調査結果を基に、施設の劣化状況を確認し、機能保全計画書の策定を行うものとします。

(3) 作業項目・作業内容

作業項目・作業内容の詳細については、別紙見積仕様書のとおりとします。

(4) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

①本歩掛参考見積に適用する業務費の構成は、国土交通省が別に制定する「設計業務等標準積算基準書」（以下「基準書」という）に準じるものとします。

②歩掛参考見積の募集範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記「(3)作業項目・作業内容」を実施するために必要な技術者の人数等を徴取します。

(5) 技術者等の職種と定義

国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」及び「令和7年度公共工事設計労務単価」における「職種の定義・作業内容」によるものとします。

## 5. 募集要領に対する質問

この依頼書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

(1) 提出期間：令和7年6月24日（火）から令和7年6月30日（月）まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時00分から17時00分まで（12時00分から13時00分までを除く）

(2) 提出場所：3. (3) に同じ

(3) 提出方法：3. (4) に同じ

## 6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：令和7年7月2日（水）から令和7年7月9日（水）まで

(2) 閲覧方法：本募集要領を掲載したホームページを確認願います。

## 7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

## 8. ヒアリング

提出して頂いた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

## 9. 問い合わせ先

3. (3) の提出先に同じ。

## 10. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

両筑平野用水施設機能保全計画策定等業務  
(仮称)

見積仕様書

令和7年6月

独立行政法人水資源機構  
筑後川上流総合管理所

# 第1章 総則

## 1.業務目的

本業務は、両筑平野用水施設におけるストックマネジメントに係る機能診断調査及び当該結果に基づき施設機能保全計画書の策定を行うものです。

ダムにおいては UAV (Unmanned Aerial Vehicle) による撮影および近接目視調査、排水できない管水路においては管内面の ROV (Remotely Operated Vehicle) による撮影、排水可能なパイプラインにおいては近接目視、たわみ量調査等の調査を行うものとします。

また、調査結果を基に、施設の劣化状況を確認し、機能保全計画書の策定を行うものとします。

上記に必要な直接人件費および機械経費について見積徴取を依頼するものです。それ以外の直接経費、間接原価、一般管理費等については、独立行政法人水資源機構（以下「水機構」という。）が制定する「積算基準及び積算資料（調査等編）」の設計業務等積算基準に基づくものとします。

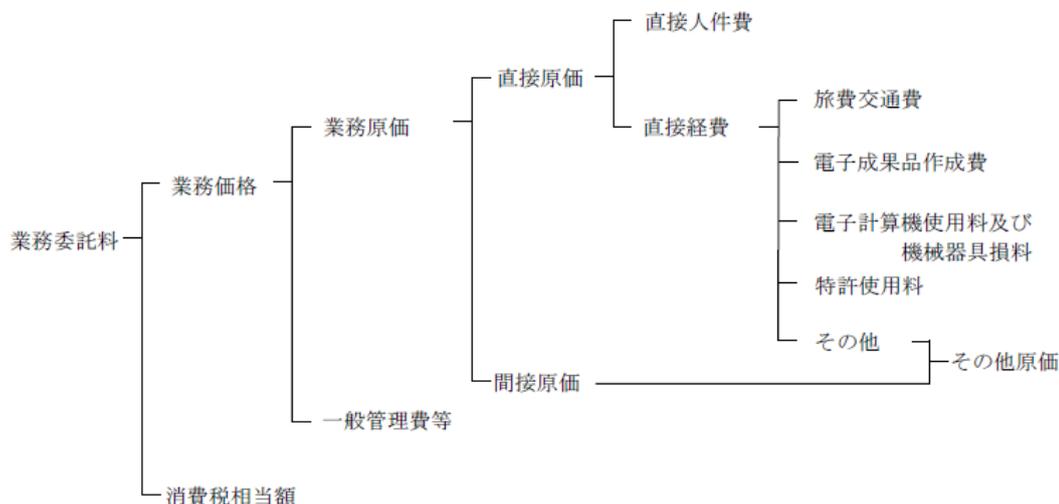
業務場所：福岡県朝倉市江川地内（江川ダム）

福岡県朝倉市荷原地内（三奈木導水路）

福岡県朝倉郡筑前町依井地内（三輪立石幹線水路）

福岡県朝倉郡筑前町高上地内（立石支線水路）

（参考：積算体系）



## 2.見積りの前提条件

### 2-1 既存資料

以下の既存資料があり、必要に応じ貸与することを前提として見積りを行うものです。

- ① 施設の管理用図面
- ② 両筑平野用水二期事業工事完成図面
- ③ 過年度までのストックマネジメントに関する調査報告書

- 平成 28 年度両筑平野用水施設機能診断調査業務
  - 平成 29 年度両筑平野用水施設機能保全計画更新等業務
  - 令和 3 年度両筑平野用水機能診断等業務
  - 令和 3 年度両筑平野用水機能保全計画策定業務
  - 両筑平野用水施設機能診断調査等業務(令和5年7月)
  - 寺内導水路他施設機能診断調査等業務(令和6年3月)
- ④ 江川ダムの維持管理に関する資料
- ⑤ その他、調査職員が必要と認めたもの

## 2-2 準拠基準等

以下の基準類によって機能診断調査および施設機能保全計画書の策定を行うものとします。

- (1) 水路工設計指針:独立行政法人水資源機構
- (2) 農業水利施設の機能保全の手引き(令和5年4月)
- (3) 農業水利施設の機能保全の手引き「開水路」(平成28年8月)
- (4) 農業水利施設の機能保全の手引き「水路トンネル」(平成28年8月)
- (5) 農業水利施設の機能保全の手引き「パイプライン」(平成28年8月)
- (6) 農業用ダム機能診断マニュアル(平成30年4月)
- (7) 農業水利施設の機能保全に関する調査計画の参考資料(案)「開水路編」
- (8) 農業水利施設の機能保全に関する調査計画の参考資料(案)「水路トンネル編」
- (9) 農業水利施設の機能保全に関する調査計画の参考資料(案)「パイプライン編」
- (10) 2022年制定コンクリート共通示方書 維持管理編

(2023年3月) 社団法人土木学会

## 3. ストックマネジメント調査・検討

### 3-1 計画準備

調査開始に先立ち、貸与資料を把握するとともに、調査の内容を十分検討したうえで、作業計画を立案するものです。

### 3-2 現地踏査

過年度までの調査結果等に基づき巡回目視により変化を概括的に把握し、その結果を記録するとともに、主な劣化要因の推定を行うものです。

画像撮影調査(ダム堤体)の際の UAV 離着陸位置確認、画像撮影調査(パイプライン)の際の ROV 投入位置確認等を含みます。

なお、巡回目視には、簡易な器具による測定を含むものとします。

### 3-3 現地調査

#### 3-3-1 画像撮影調査(ダム堤体)

##### (1) 画像撮影

画像撮影は、堤体表面の変状を正確に把握できるよう、ドローンに搭載したデジタルカメラを用いて行うものとします。

画像撮影を行う際には、可能な限りコンクリート表面に正対し撮影条件を一定に保つとともに、各画像のラップ率を30%以上とし、画像の欠落がないように撮影を行うものとします。

画像は、0.2mm以上のひび割れ幅を検出できる精度とし、撮影距離、画像解像度などを記録するものとします。

撮影対象範囲は参考図に示すとおりとします。

## (2) 展開画像作成

画像撮影により得られたデジタルデータについて、以下の画像補正を行い、平面的な合成画像を作成するものとします。

①収差補正：広角レンズを用いた場合、画像に樽状に生ずる収差の補正

②あおり補正：斜方向から撮影した場合、正対画像に補正（台形補正）

## (3) 変状整理図作成

1)発注者が貸与する図面集を用いて、ダム下流面の基礎図(白図)を作成するものとします。

なお、基礎図は適宜ブロック分けを行うものとします。

2)変状整理図は、基礎図を背景として撮影画像を配置し、画像から抽出した「ひび割れ」「亀甲状ひび割れ」「漏水」「遊離石灰」「剥離」「コールドジョイント」等の変状をトレースするものとします。トレースは変状の種別ごとおよびひび割れ幅区分(0.2mm以上～0.5mm未満、0.5mm以上～1.0mm未満、1.0mm以上～2.0mm未満、2.0mm以上)ごとに画層(レイヤー)を作成して整理するものとします。

なお、ひび割れ幅の区分については、作業前に現地代表箇所において、実測のひび割れ幅と撮影画像のひび割れ幅の比較・校正を行い、可能な限りひび割れ幅の区分誤差を少なくするよう努めるものとします。

3)上記2)で抽出した各変状については固有番号を付するものとし、各変状について「変状の始点および終点」「変化点」「個々のひび割れの長さ・走向・ひび割れ幅」について固有番号毎に整理するものとします。

4)展開図については、今後の維持管理作業において継続的に使用・編集することから、汎用性のあるCADソフトを用いて作成するものとします。

## (5) 調査結果とりまとめ

準拠基準に基づき現地調査結果を整理します。

### 3-3-2 近接目視調査(ダム監査廊)

#### (1) 近接目視調査(ダム監査廊)

準拠基準に基づき構造物の内面より目視や簡易な器具による計測等の調査を行い、以下に示す変状等を定量的に把握するとともに、スケッチを作成します。

(調査対象項目)

調査対象項目
・ひび割れ(形状・幅, 規模, 付随物, 漏水の有無, 段差)
・剥離・剥落・浮き
・析出物(ひび割れを含むものを除く)

(エフロレッセンス、ゲルなど)
・錆汁(ひび割れを含むものを除く)
・鉄筋露出の程度
・表面の変形、膨張
・欠損・損傷
・ブロック間の変状(開き、段差、漏水状況、周縁コンクリートの欠損等)
・(クラック・継ぎ目から漏水がある場合) 漏水量と貯水位に相関があるか

## (2) 変状整理図作成

発注者が貸与する図面集を用いて、ダム監査廊の展開図を作成し、変状が確認された箇所、種別、規模(延長、面積等)を記入するものとし、変状の種別ごとおよびひび割れ幅区分(0.2mm 以上～0.5mm 未満、0.5mm 以上～1.0mm 未満、1.0mm 以上～2.0mm 未満、2.0mm 以上)ごとに画層(レイヤー)を作成して整理するものとします。

また、各変状については固有番号を付するものとし、各変状について「変状の始点および終点」「変化点」「ひび割れの長さ・方向・幅」等について固有番号毎に整理するものとします。

展開図については、今後の維持管理作業において継続的に使用・編集することから、汎用性のある CAD ソフトを用いて作成するものとします。

## (3) 調査結果とりまとめ

準拠基準に基づき個票を作成し、現地調査結果を整理します。

### 3-3-3 近接目視調査(パイプライン)

#### (1) 近接目視調査(管更生管)※既設管口径: φ800～1200

準拠基準に基づき目視や簡易な器具による計測等の調査を行い、以下に示す変状等を定量的に把握するとともに、スケッチを作成します。

(調査対象項目:更正管)

調査対象項目
・ひび割れ
・欠損
・しわ
・たるみ(未硬化)
・浮き
・剥離
・摩耗
・その他変状

#### (2) 近接目視調査(DCIP)※既設管口径: φ800～φ1000

準拠基準に基づき目視や簡易な器具による計測等の調査を行い、以下に示す変状等を定量的に把握するとともに、スケッチを作成します。

(調査対象項目:DCIP)

調査対象項目
・ひび割れ
・内面塗装の劣化状況
・発錆状況
・継手曲げ角度、継手間隔
・その他変状

(3) たわみ量測定

管内において天地方向及び左右方向におけるたわみ量を測定し、たわみ率を算定します。

(4) 変状整理図作成

ダム監査廊の展開図を作成し、変状が確認された箇所、種別、規模(延長、面積等)を記入するものとし、変状の種別ごとに画層(レイヤー)を作成して整理するものとし、

展開図については、今後の維持管理作業において継続的に使用・編集することから、汎用性のあるCADソフトを用いて作成するものとし、

(5) 調査結果とりまとめ

準拠基準に基づき現地調査(定点調査)票を作成し、現地調査結果を整理します。

3-3-4 画像撮影調査(パイプライン)

画像撮影は、ROVに搭載したビデオカメラを用いて行うものとし、

調査対象区間は下表および参考図のとおりとし、水路内は流速0.1~0.3m/s程度、投入口は下流側の寺内水槽(水深最大4.5m程度)、濁度は概ね10度前後を想定していません。

施設名	管種	口径	勾配	調査範囲	流速
三奈木導水路	DCIP	φ800~ 1,350	1%~95%	200m	0.1~ 0.3m/

(1) 画像撮影(パイプライン)

投入箇所の寺内水槽から上流方向へ、全周を撮影しながら切れ目のない連続した映像を得るように行うものとし、撮影した映像をもとに、管水路内部の錆こぶ、管の変形・たわみ等、土砂やゴミなどの異物の有無等を確認するものとし、

なお、著しい損傷等が確認された場合は、機構職員に速やかに報告するとともに、追加調査の実施等について機構職員と協議を行うものとし、

(2) 調査結果とりまとめ

ROVにより撮影した結果については、別途機能保全計画書策定に用いることを念頭に、施設内の変状位置及び変状箇所が分かるように写真台帳を作成するものとし、

作成する写真台帳は静止画として画像ファイル出力を行った画像を使用するものとし、解像度を落とさない原画のままの画像ファイルを別途納品することとし、撮影した動画及び静止画等の生データ(画像鮮明化処理したデータ)については、報告書の添付資料として提出するものとし、

### 3-4 健全度評価

#### 3-4-1 健全度評価(ダム堤体)

過年度までの調査結果及び上記の調査結果等を総合的に検討し、健全度の判定を行います。

#### 3-4-2 健全度評価(パイプライン)

過年度までの調査結果及び上記の調査結果等を総合的に検討し、健全度の判定を行います。

### 3-5 報告書作成

調査成果に基づき調査報告書を作成します。

## 4. 機能保全計画策定

### 4-1 業務準備

機能保全計画の策定を行うにあたり、貸与資料の把握、必要に応じて資料収集等を行うとともに、業務内容を十分検討するものとします。

### 4-2 機能保全計画策定 [パイプライン]

#### 4-2-1 施設重要度評価の検討

資料調査及び現地踏査を行い、二次災害危険度、応急復旧難易度、利水影響度の観点から施設の重要度を評価するものとします。なお、対象施設群の付帯構造物の評価についても、本作業に含むものとします。

#### 4-2-2 施設のグルーピングの検討

施設構造、重要度評価、健全度及び変状要因などを総合的に勘案し、機能保全対策を検討するための施設のグルーピングを行うものとします。なお、対象施設群における付帯構造物についても本作業に含むものとします。

#### 4-2-3 性能低下予測

性能低下要因推定結果、健全度判定結果等を踏まえつつ、性能管理指標を選定し、準拠基準に基づき性能低下予測を行うものとします。なお、予測にあたっては、貸与資料の類似構造物の成果なども参考にするとします。

#### 4-2-4 管理水準の設定

性能低下予測結果に基づき、構造の安全率、施設の重要度及び経済性を踏まえつつ、施設の管理水準を設定するものとします。なお、設定にあたっては、貸与資料の類似構造物の成果なども参考にするとします。

#### 4-2-5 機能保全対策の検討

施設毎に、更新、補強、補修の原則3案の対策シナリオを作成するものとします。各シナリオは、現地状況に適合する複数の対策工法から最も適した工法を選定し、実施時期及び範囲を組み合わせ作成するものとします。なお、機能保全対策の検討にあたり必要となる簡易な水理検討及び構造検討を含むものとします。また、対策シナリオ作成にあたっては、貸与資料の類似構造物の成果なども参考にするとします。

#### 4-2-6 機能保全コストの算定

上記 4-2-5で作成した対策シナリオ毎に機能保全コストを算定し、比較するものとします。

なお、コスト算定のために必要な数量計算及び設計図面作成などを含むものとします。また、算定にあたっては、貸与資料の類似構造物の成果なども参考にするものとします。

#### 4-2-7 機能保全計画の策定

機能保全コストを最小とすることを基本としたうえで、施設重要度を踏まえリスク、環境との調和、維持管理の容易さ等を総合的に検討し、機能保全計画を策定するものとします。なお、策定にあたっては、貸与資料の類似構造物の成果なども参考にするものとします。

#### 4-2-8 報告書作成

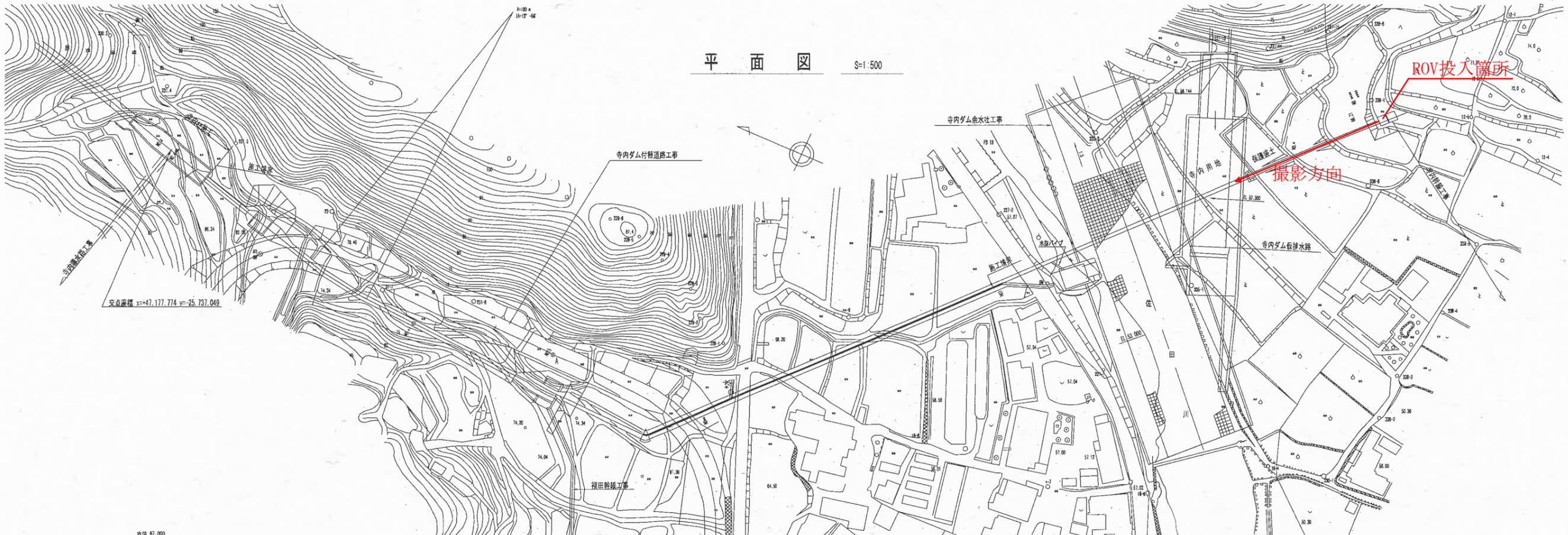
検討成果に基づき施設機能保全計画書及び報告書を作成するものとします。

－ 以 上 －

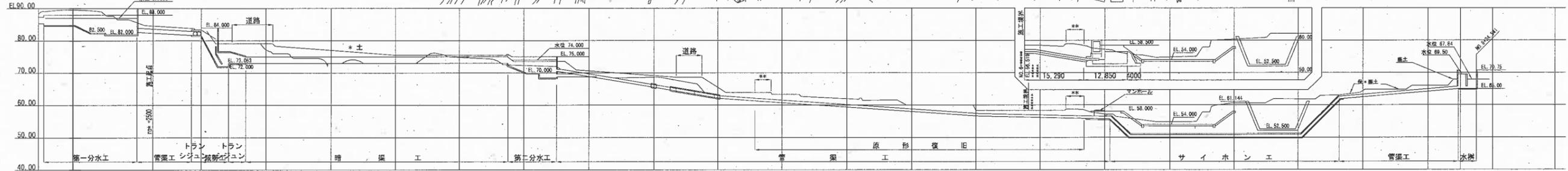
# 位置図



参考図



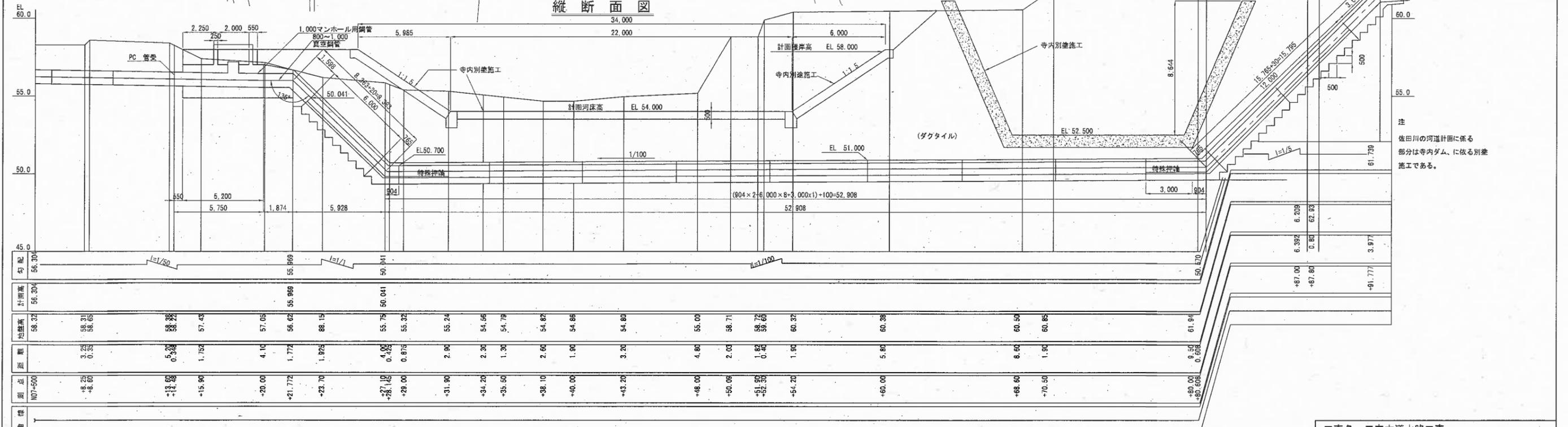
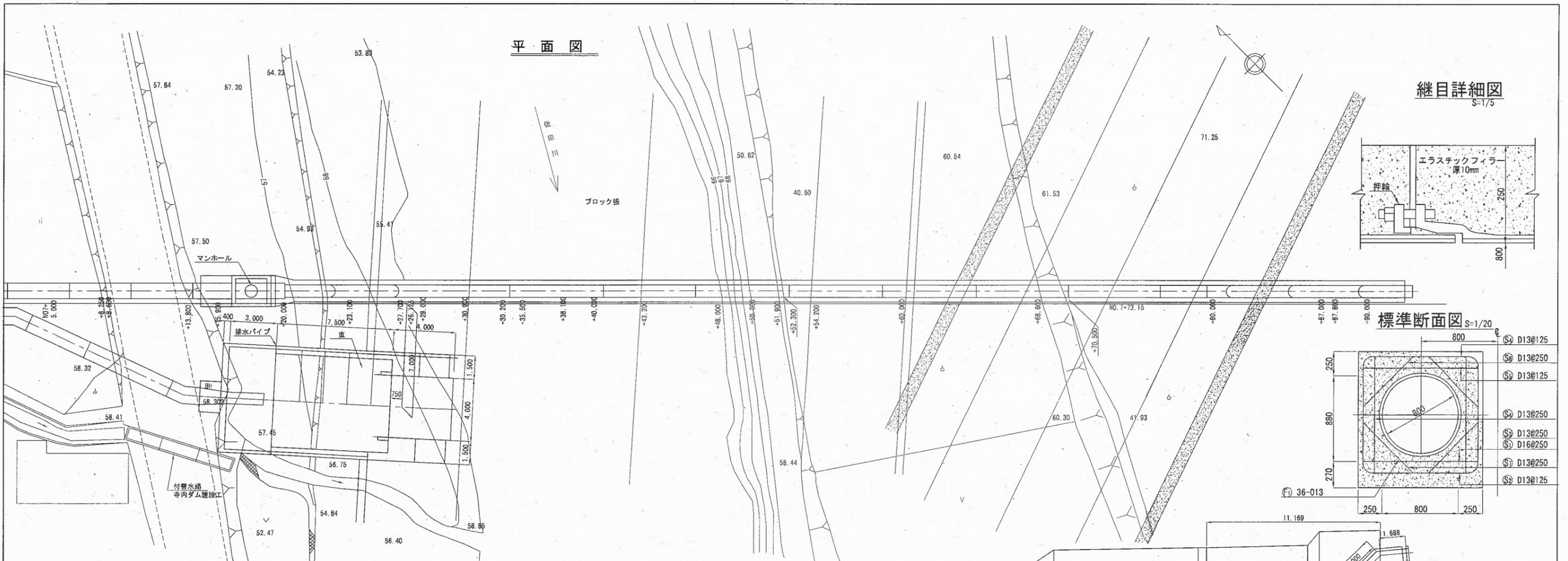
平面図 S=1:500



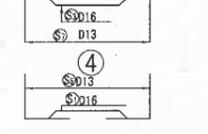
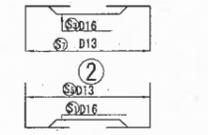
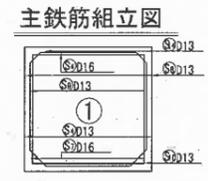
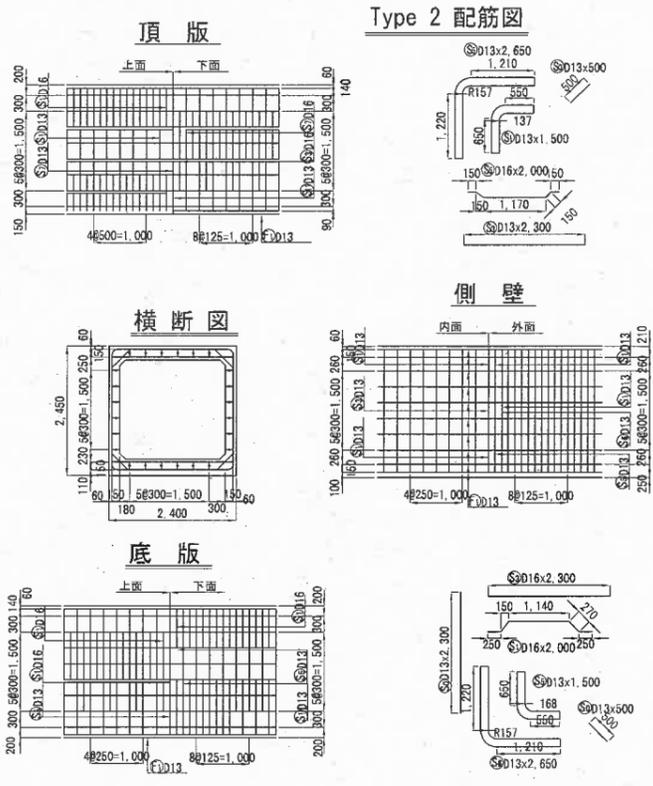
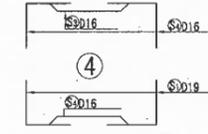
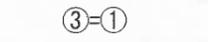
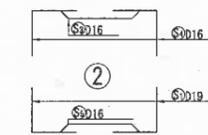
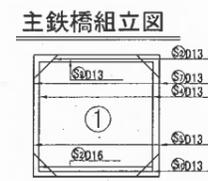
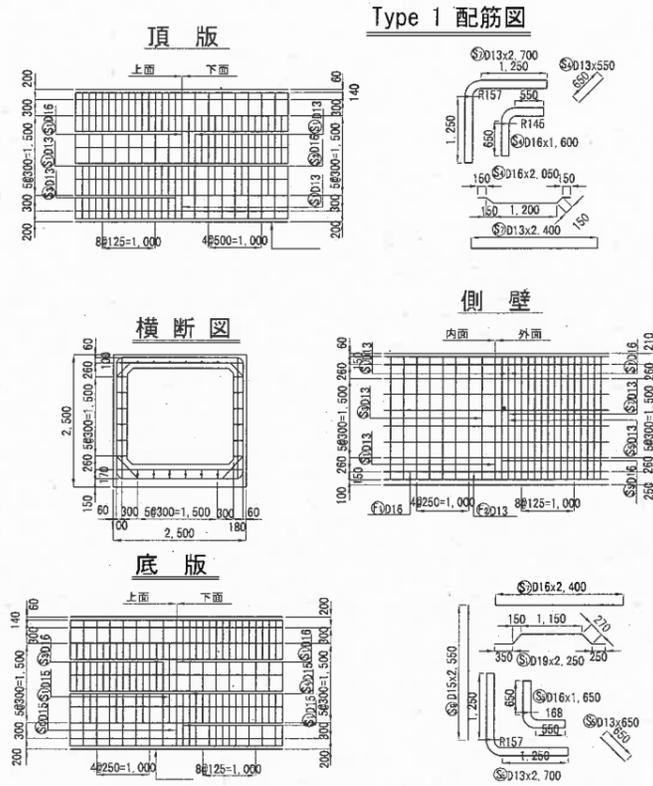
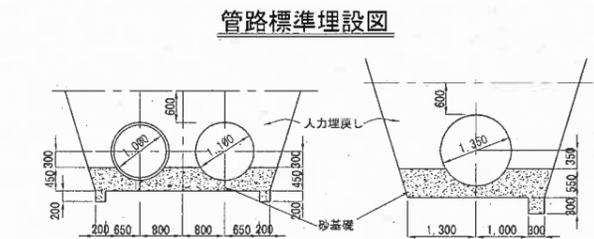
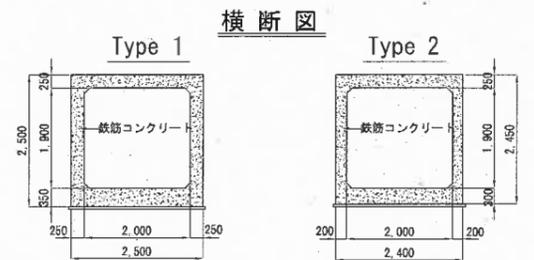
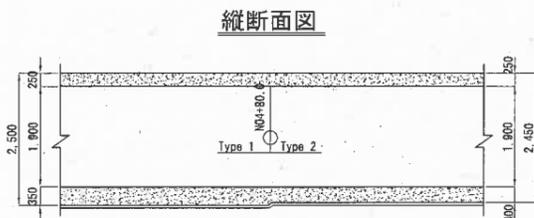
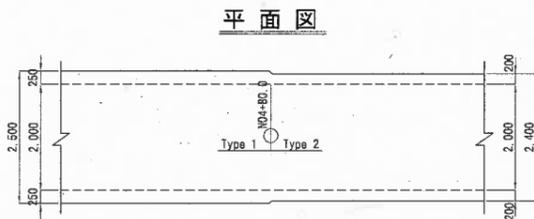
由線	測点	区間距離	追加距離	成勢距離	地盤高	勾配
M.4	+5.00	5.00	0.00	88.800	84.500	1/110
	+10.00	5.00	0.00	87.940	82.000	1/110
M.5	+20.00	10.00	0.00	85.550	82.000	1/110
	+25.00	5.00	5.00	84.200	81.500	1/110
	+30.00	5.00	12.00	82.530	81.000	1/110
	+37.00	7.00	15.00	82.000	80.500	1/110
	+45.00	8.00	20.00	82.000	80.000	1/110
	+48.00	3.00	23.00	81.000	79.500	1/110
	+54.00	6.00	29.00	81.000	79.000	1/110
	+60.00	6.00	35.00	81.000	78.500	1/110
	+67.00	7.00	42.00	81.000	78.000	1/110
	+70.00	3.00	45.00	81.000	77.500	1/110
M.6	+80.00	10.00	55.00	81.000	77.000	1/110
	+85.00	5.00	61.46	81.000	76.500	1/110
	+90.00	5.00	66.46	81.000	76.000	1/110
	+95.00	5.00	71.46	81.000	75.500	1/110
	+100.00	5.00	76.46	81.000	75.000	1/110
	+105.00	5.00	81.46	81.000	74.500	1/110
	+110.00	5.00	86.46	81.000	74.000	1/110
	+115.00	5.00	91.46	81.000	73.500	1/110
	+120.00	5.00	96.46	81.000	73.000	1/110
	+125.00	5.00	101.46	81.000	72.500	1/110
M.7	+130.00	5.00	106.46	81.000	72.000	1/110
	+135.00	5.00	111.46	81.000	71.500	1/110
	+140.00	5.00	116.46	81.000	71.000	1/110
	+145.00	5.00	121.46	81.000	70.500	1/110
	+150.00	5.00	126.46	81.000	70.000	1/110
	+155.00	5.00	131.46	81.000	69.500	1/110
	+160.00	5.00	136.46	81.000	69.000	1/110
	+165.00	5.00	141.46	81.000	68.500	1/110
	+170.00	5.00	146.46	81.000	68.000	1/110
	+175.00	5.00	151.46	81.000	67.500	1/110
M.8	+180.00	5.00	156.46	81.000	67.000	1/110
	+185.00	5.00	161.46	81.000	66.500	1/110
	+190.00	5.00	166.46	81.000	66.000	1/110
	+195.00	5.00	171.46	81.000	65.500	1/110
	+200.00	5.00	176.46	81.000	65.000	1/110
	+205.00	5.00	181.46	81.000	64.500	1/110
	+210.00	5.00	186.46	81.000	64.000	1/110
	+215.00	5.00	191.46	81.000	63.500	1/110
	+220.00	5.00	196.46	81.000	63.000	1/110
	+225.00	5.00	201.46	81.000	62.500	1/110

工事名 三奈本導水路工事  
 名称 平面図及び縦断面図  
 登録番号 整理番号 三奈本-1  
 水資源開発公団両筑平野用水管理所



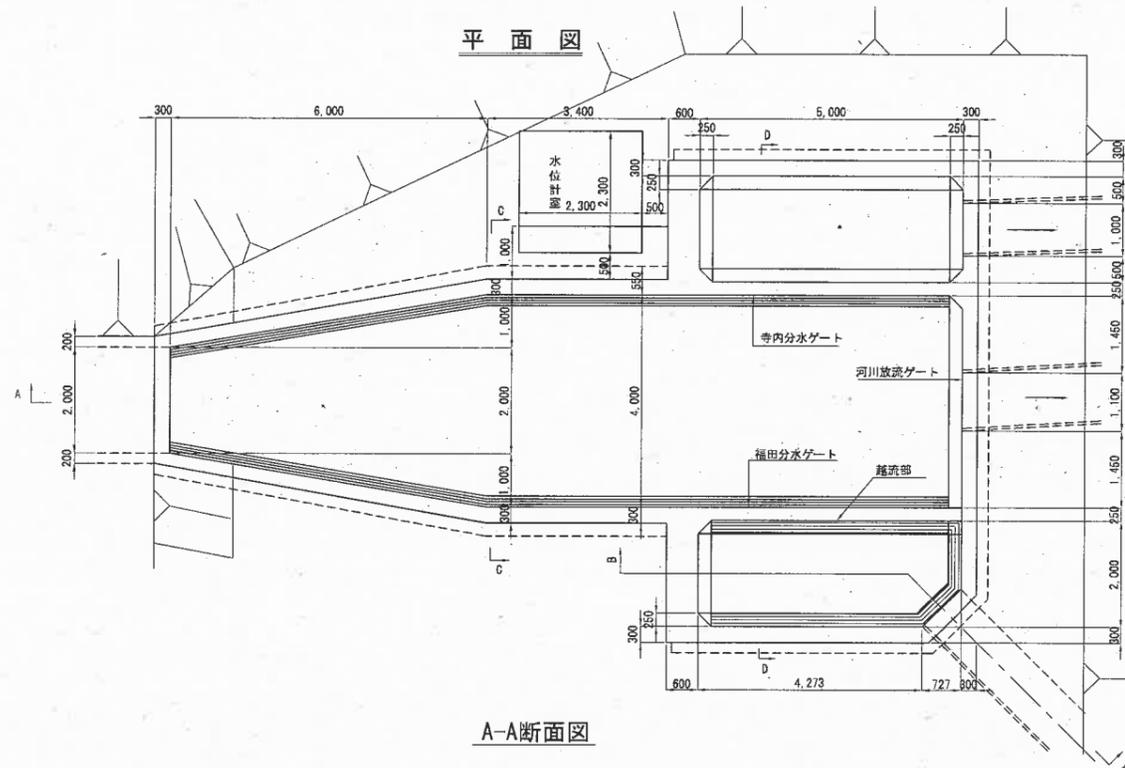


工事名		三奈木導水路工事	
名称		佐田川横断部平面図及び縦断面図	
登録番号	整理番号	三奈木-4	
水資源開発公園岡筑平野用水管理所			

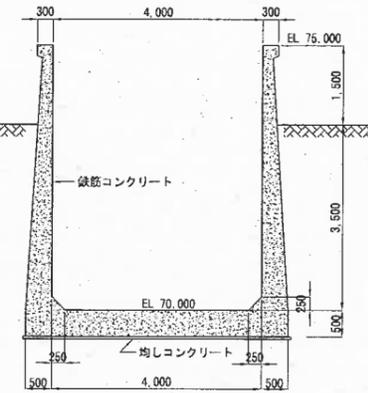


注意  
 1. 道縁下にはType1を使用。  
 2. 鉄筋加工図は参照

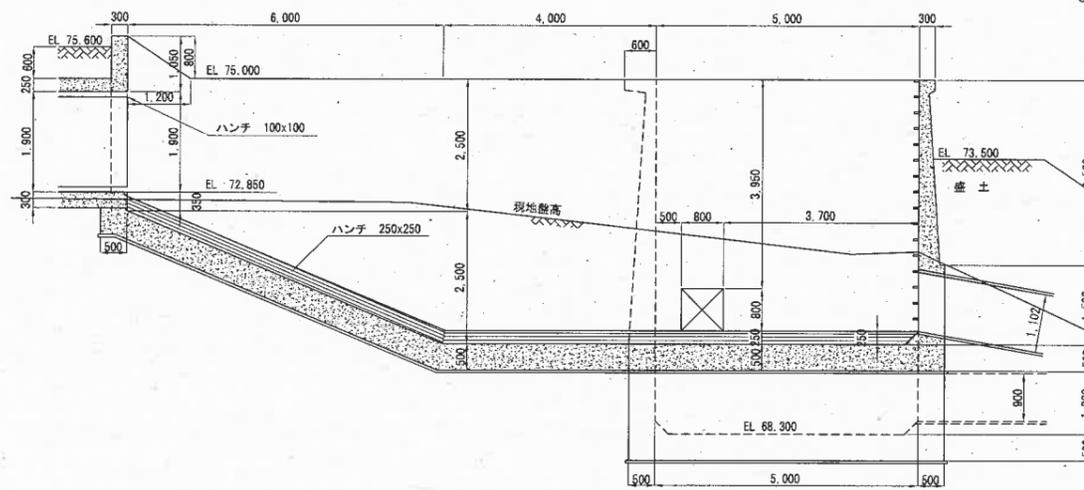
工事名・三奈木導水路工事		
名称 暗渠工構造図及び配筋図		
登録番号	整理番号	三奈木-7
水資源開発公団両筑平野用水管理所		



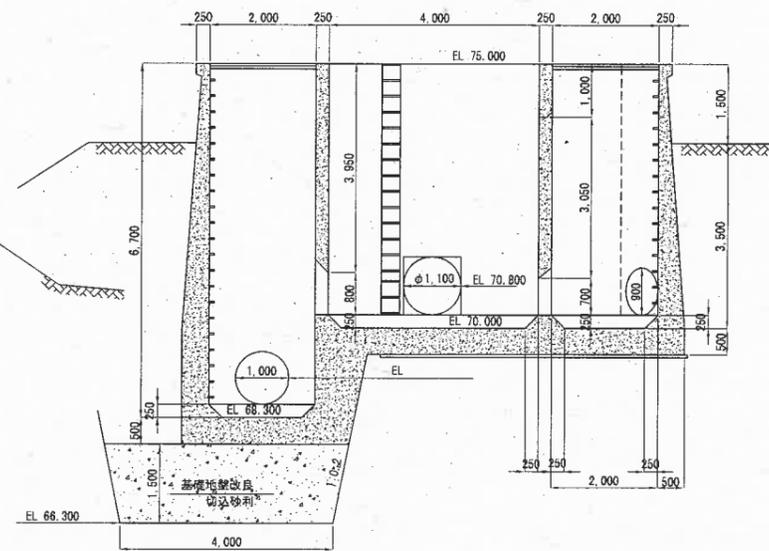
C-C断面図



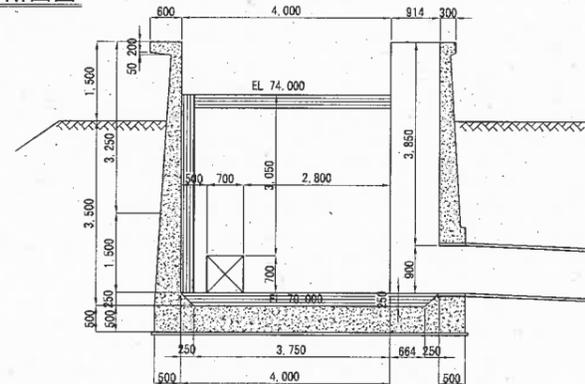
A-A断面図



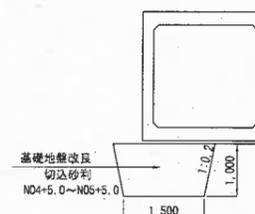
D-D断面図



B-B断面図

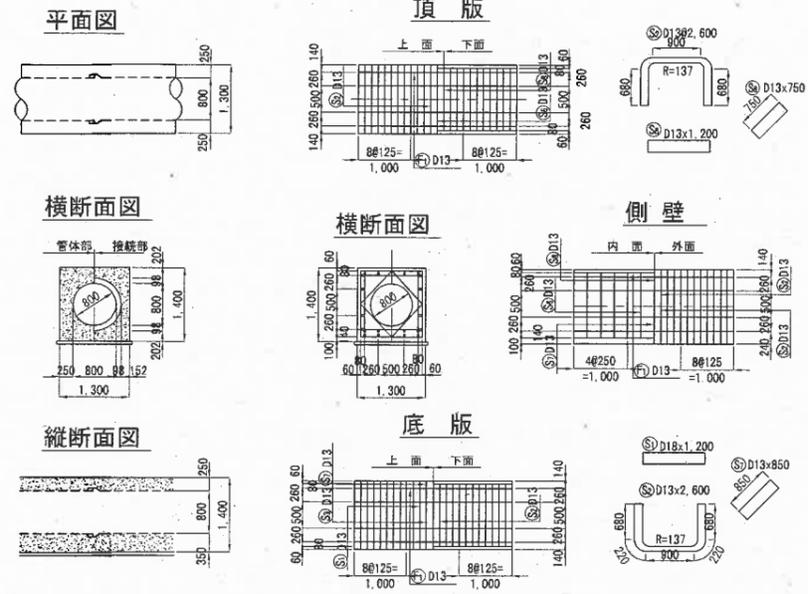


(注) 管口端部はベルマウス形仕上げとする

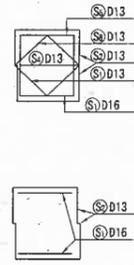


工事名 三奈木導水路工事	
名称 第二分水工構造図	
登録番号	整理番号 三奈木-8
水資源開発公園両筑平野用水管理所	

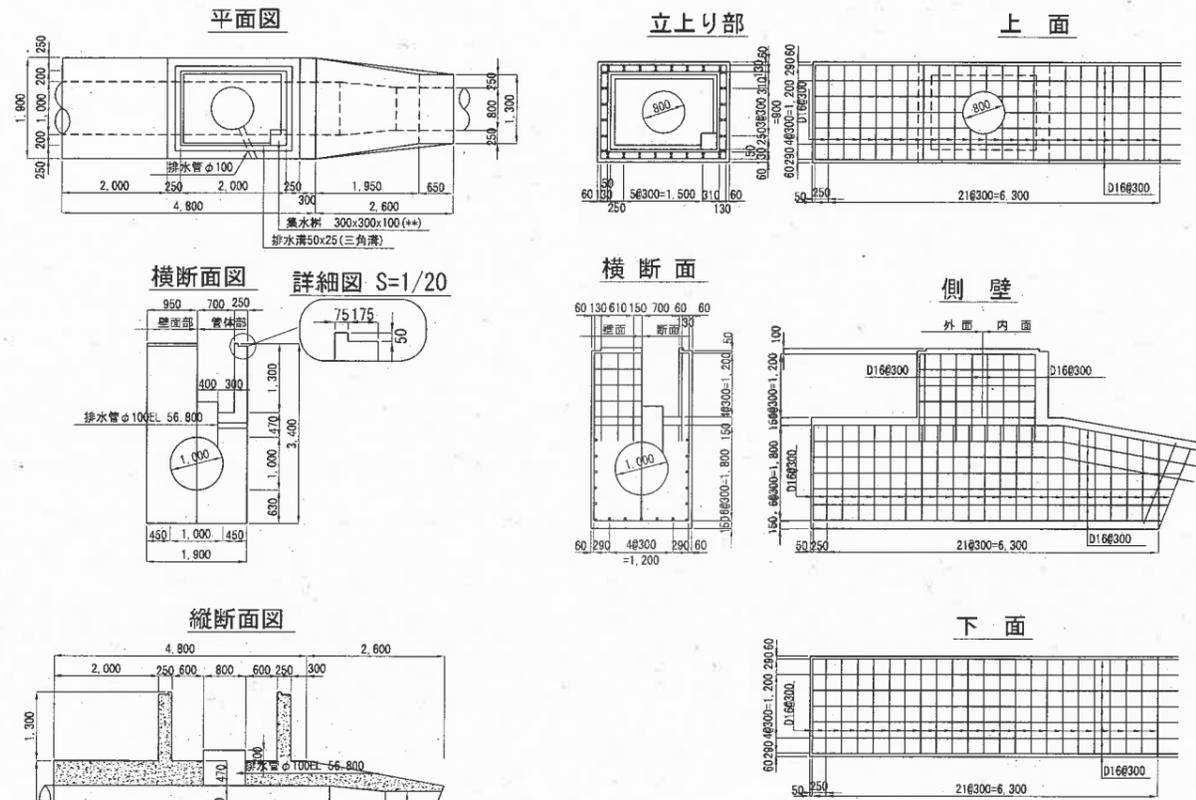
サイホン管体図



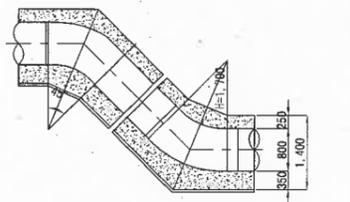
主鉄筋組立図



マンホール部図

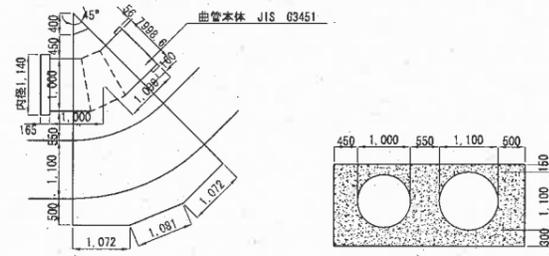


サイホン曲管部

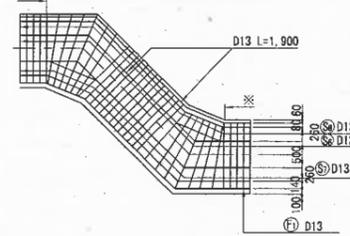


スラストブロック詳細図

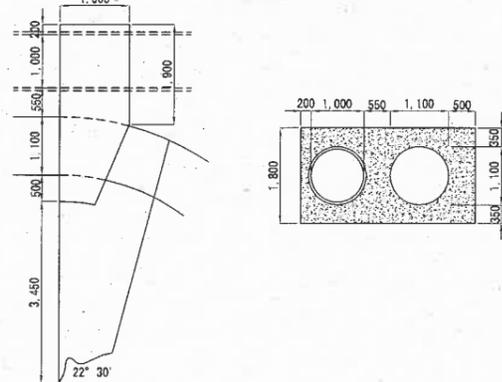
水平45°



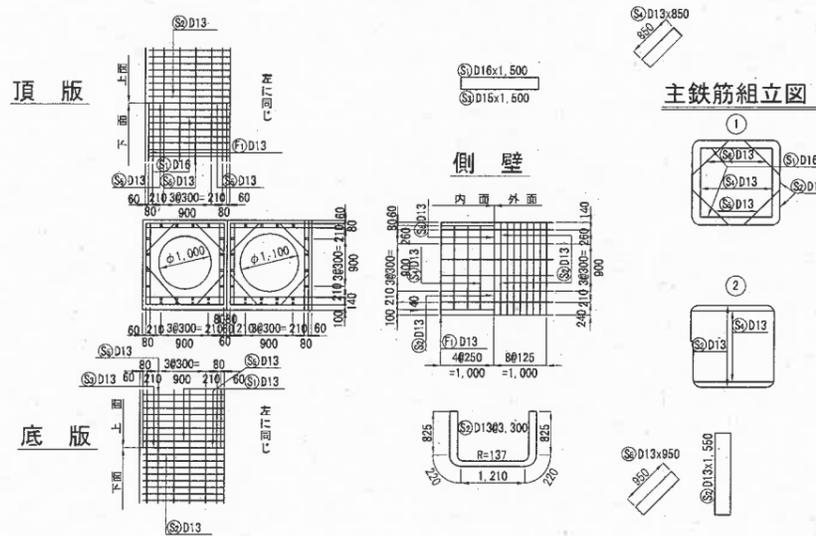
側壁内面



水平22° 30'



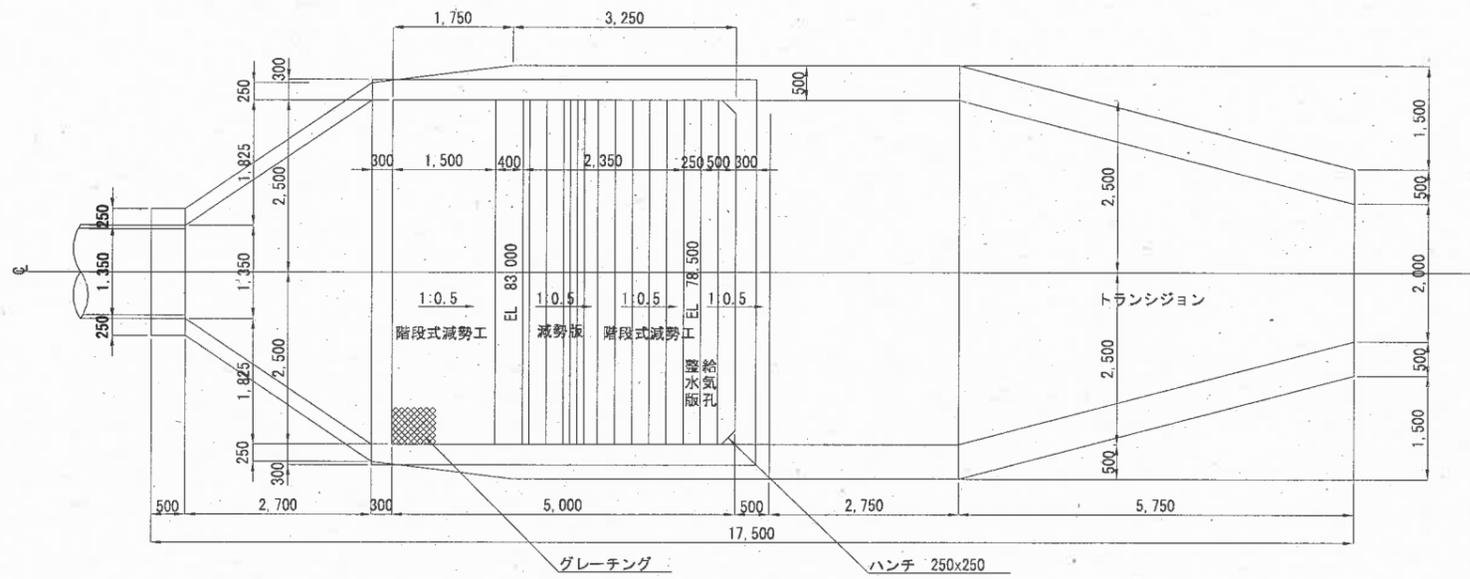
道路下管理設配筋図



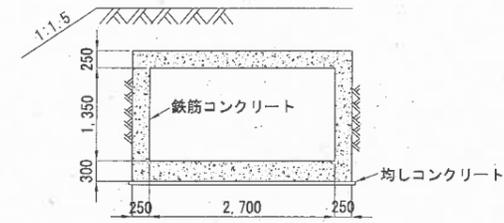
注1. 鉄筋加工図は参考

工事名 三奈木導水路工事	
名称 管体部構造図及び配筋図	
登録番号	整理番号 三奈木-10
水資源開発公団両筑平野用水管理所	

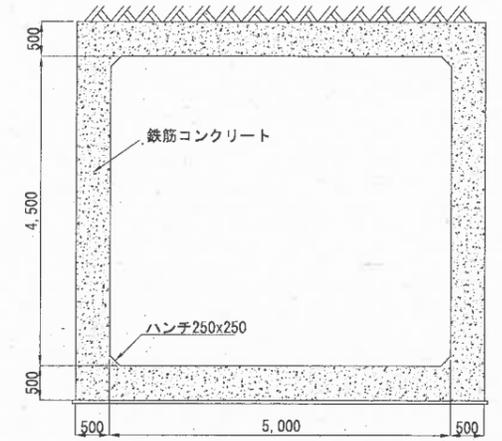
平面図 S=1/50



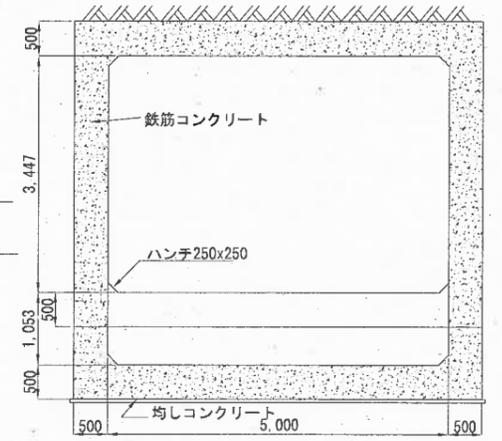
A-A 断面図 S=1/50



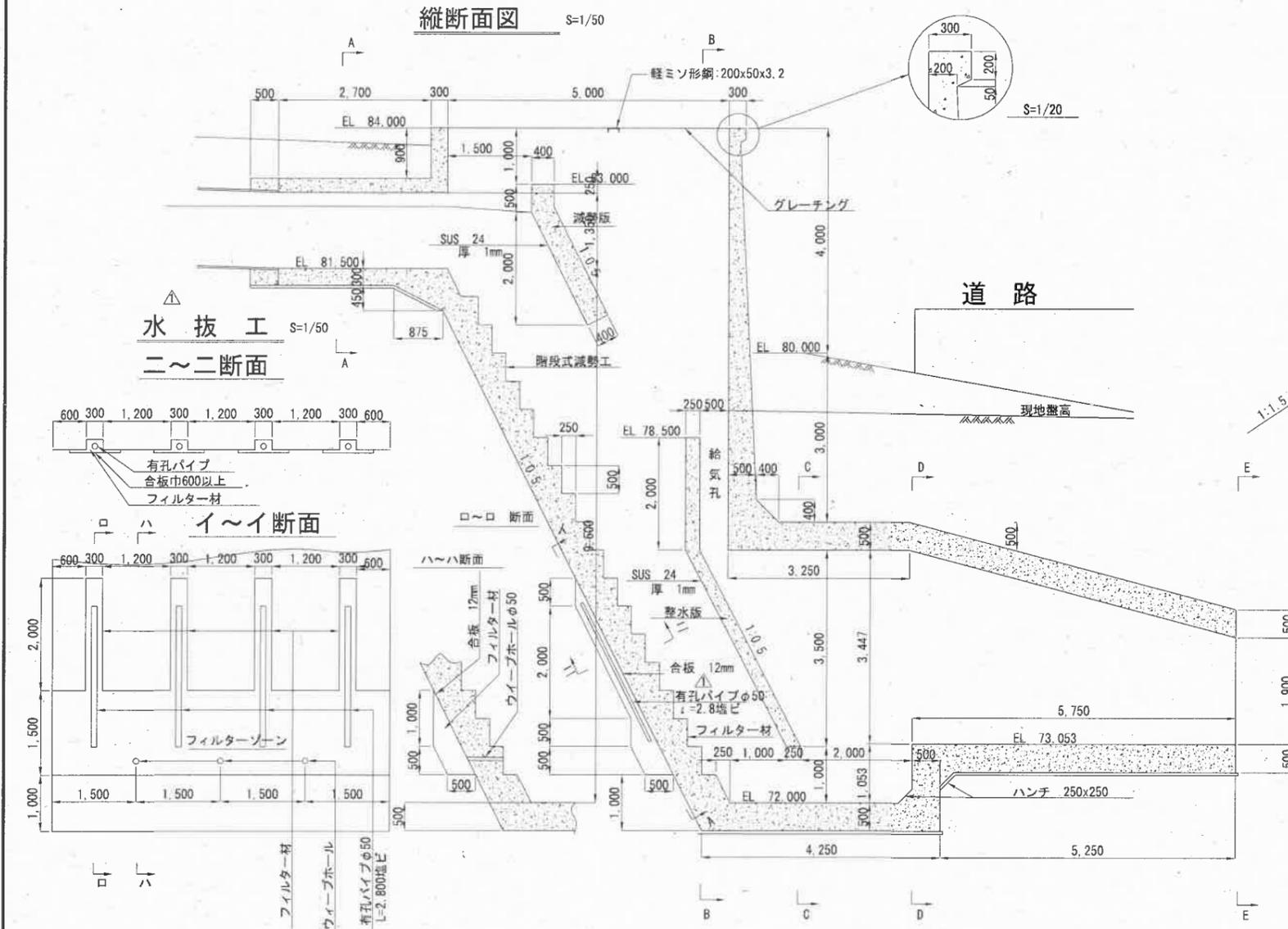
C-C 断面図 S=1/50



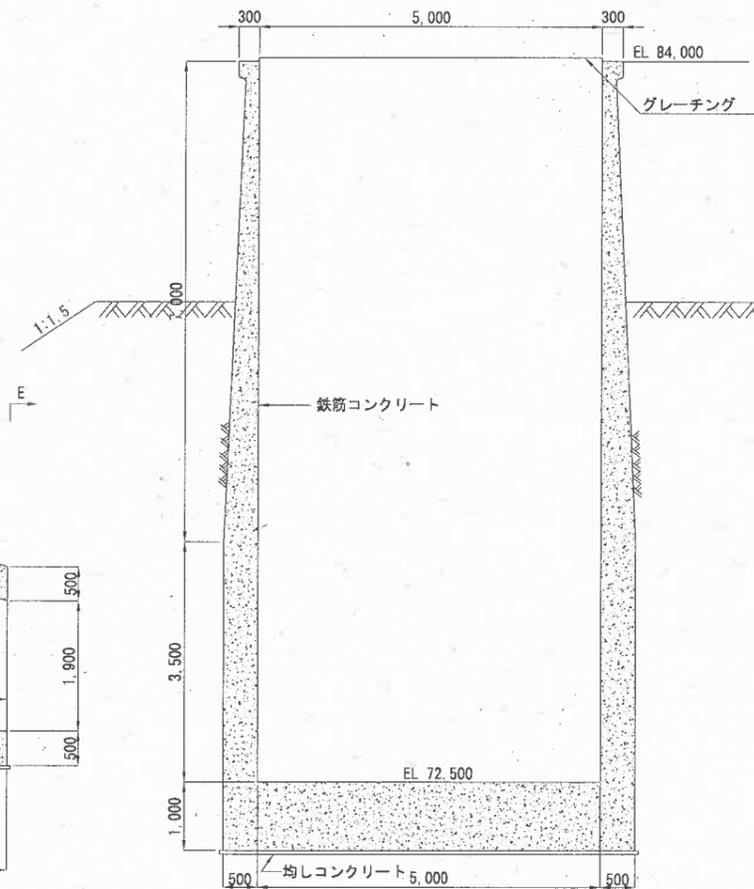
D-D 断面図 S=1/50



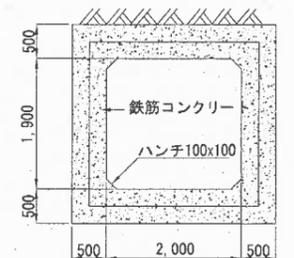
縦断面図 S=1/50



B-B 断面図 S=1/50

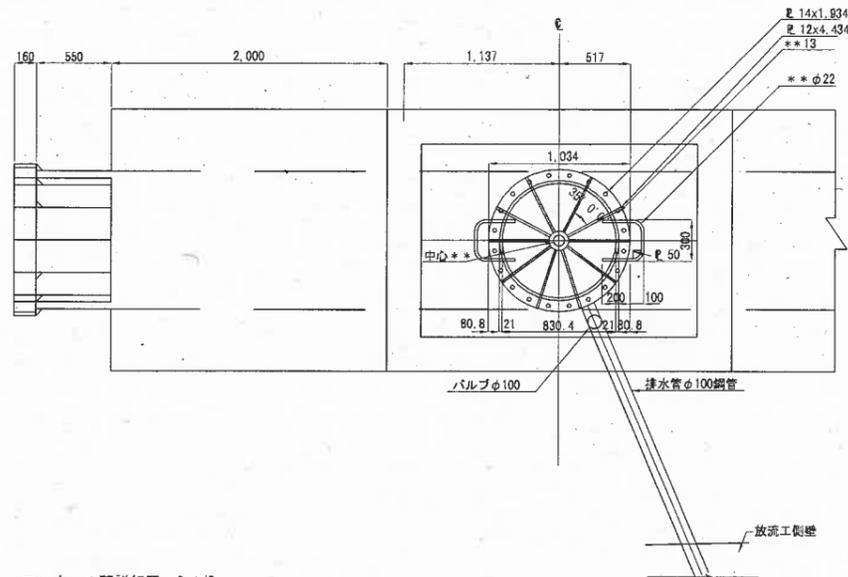


E-E 断面図 S=1/50

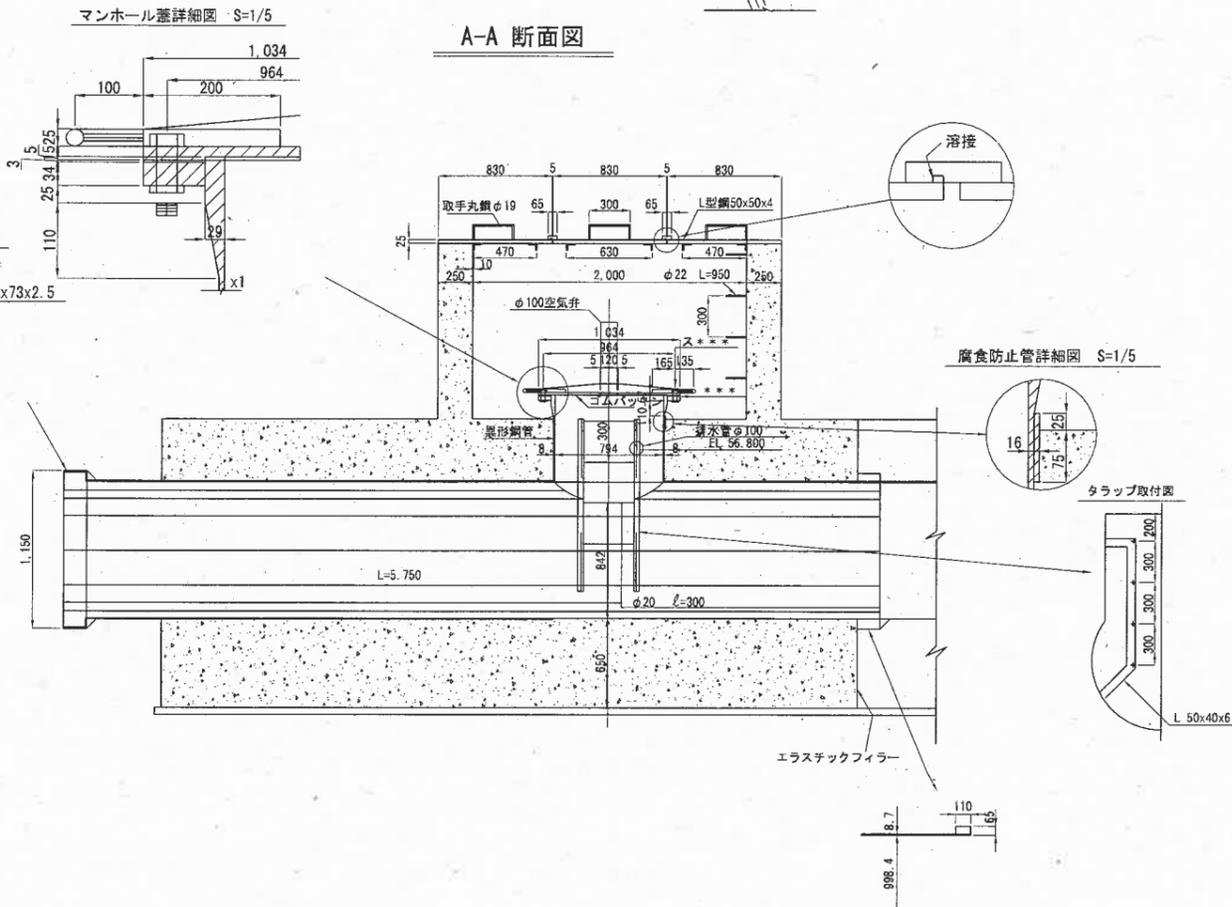


工事名	江川ダム建設工事		
名称	減勢工構造図		
登録番号	整理番号	三奈木-05	
水資源開発公団両筑平野用水管理所			

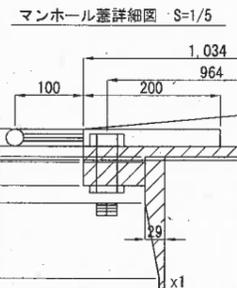
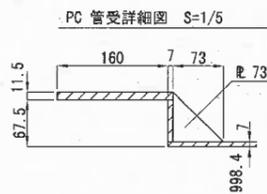
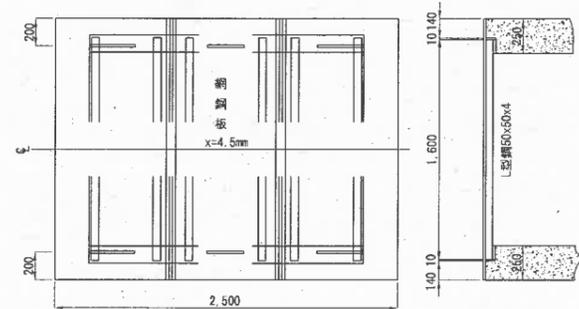
平面図



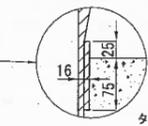
A-A 断面図



シャフト蓋詳細図 S=1/20



腐食防止管詳細図 S=1/5



工事名 三奈木導水路その2工事	
名称 マンホール詳細図	
登録番号	整理番号 三奈木-11
水資源開発公団両筑平野用水管理所	

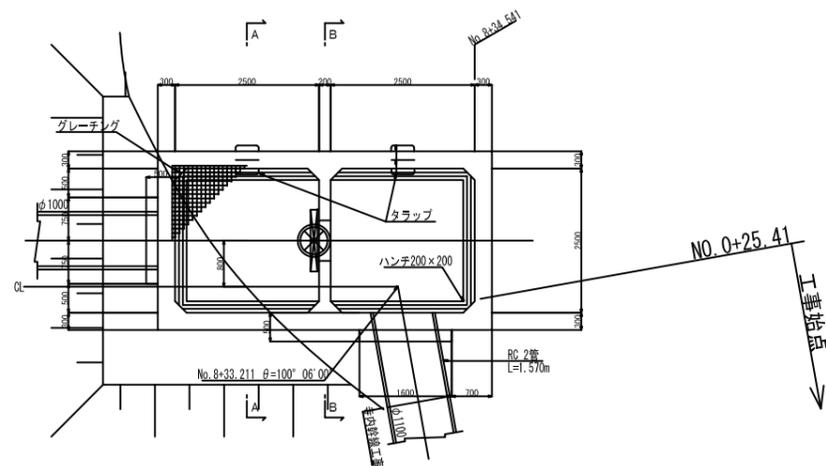
現況施設構造図（寺内水槽）「参考図」

S=1/60

注意事項

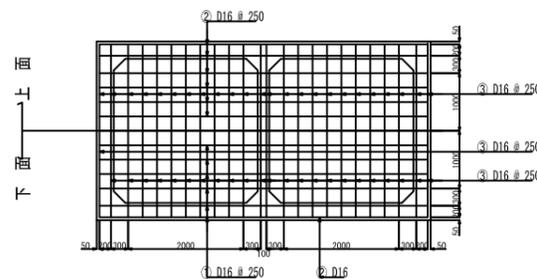
1. 寸法の規格は、特に示さない限り欄高はmmとし、  
その他はmmとする。

平面図

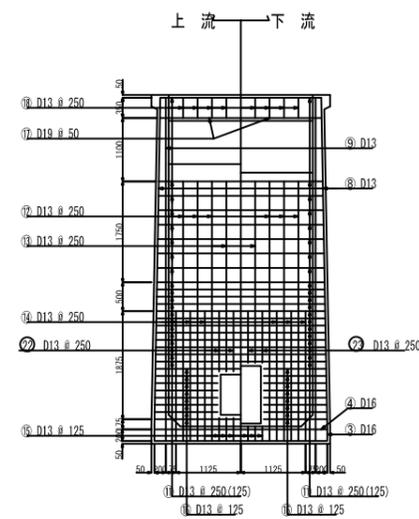


配筋図

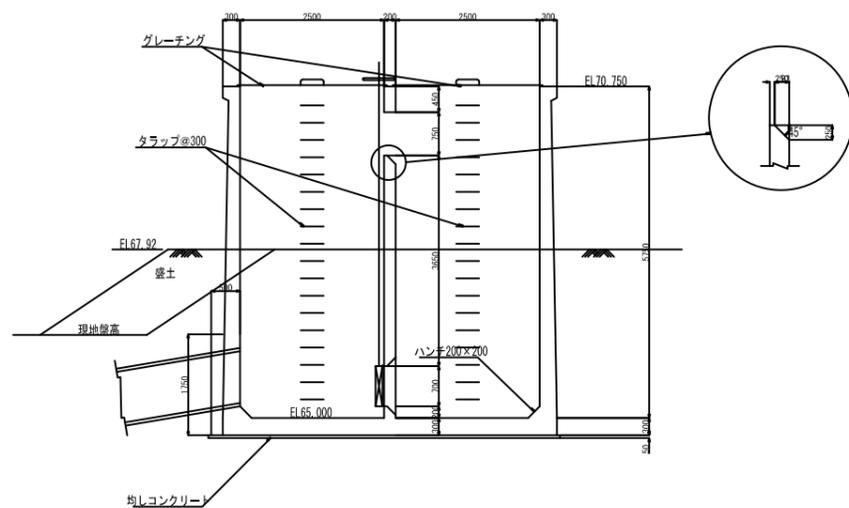
底板



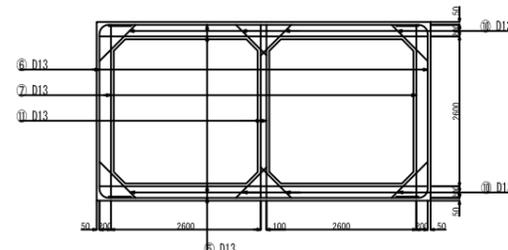
B-B断面



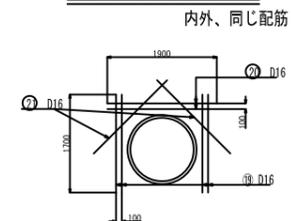
縦断面図



断面

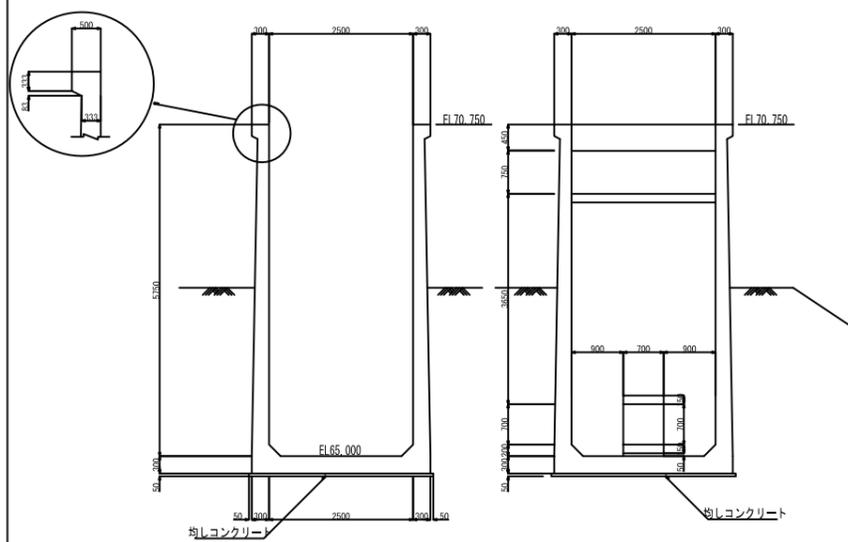


管取付補強筋

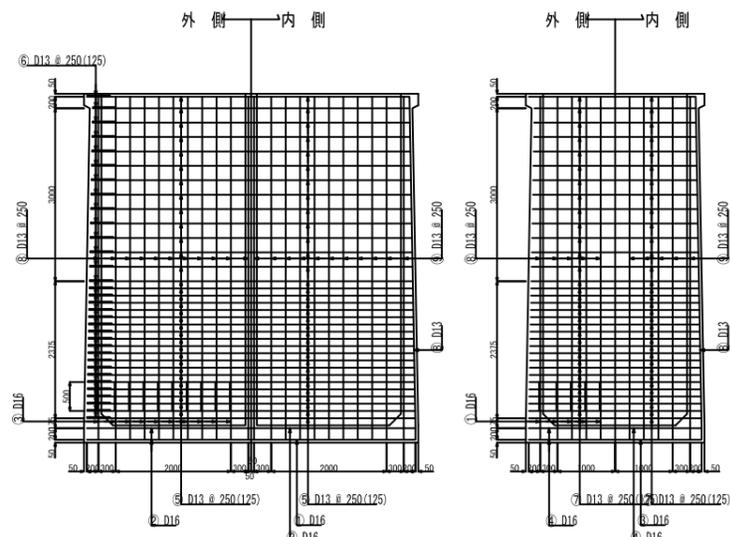


A-A断面図

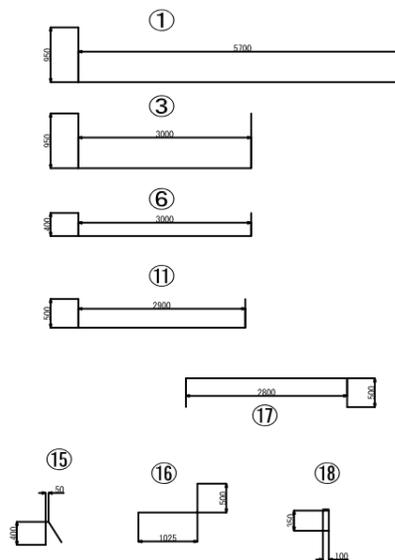
B-B断面図



側壁



鉄筋加工図（参考）



①-9

	当初設計	第1回変更
承認図	中村 博	岩本 逸郎
審査担当	花光 勉	高橋 健一
設計担当	山崎 宣之	福田 暁
統括監督職員	中村 博	岩本 逸郎
主任監督職員	鶴田 修	神谷 正志
監督職員	福田 暁	福田 暁

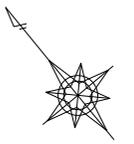
工事名 両筑二期寺内幹線水路荷原工区改築その1工事

名称 現況施設構造図（寺内水槽）「参考図」

登録番号 整理番号

独立行政法人 水資源機構 両筑野平用水総合事業所

# 計画平面図 S=1:500



第2分水工(寺内分水)  
□2500×5000×6100

農業用水分岐管  
開口処理工φ100

人孔φ800

寺内水樋  
□2500×2500×5750

改築区間 1工区 L=167.1m

既設利用区間

改築区間 2工区 L=36.1m

注意事項  
1.寸法の表記は、特に示さない限り標高はmとし、その他はmmとする。  
2.立坑位置および更生管延長は既設管の継ぎ手節に応じて管厚変更を行うものとする。

L=26.2m  
土かぶり=3.6m  
設計水圧=8.8m  
群集荷重3.0kN/m<sup>2</sup>  
管厚9mm

L=30.0m  
土かぶり=3.2m  
設計水圧=13.2m  
自動車荷重T-25  
管厚9mm

L=86.0m  
土かぶり=2.5m  
設計水圧=18.5m  
群集荷重3.0kN/m<sup>2</sup>  
管厚9mm

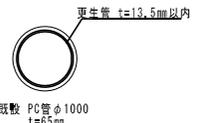
L=7.1m  
土かぶり=2.4m  
設計水圧=19.5m  
自動車荷重T-25  
管厚9mm

L=16.2m  
土かぶり=3.5m  
設計水圧=18.7m  
群集荷重3.0kN/m<sup>2</sup>  
管厚9mm

L=10.1m  
土かぶり=3.7m  
設計水圧=10.7m  
自動車荷重T-25  
管厚9mm

L=27.5m  
土かぶり=1.5m  
設計水圧=9.2m  
群集荷重3.0kN/m<sup>2</sup>  
管厚9mm

## 更生管標準断面図



既設管PC管φ1000  
管更生工法：アクアライナー工法

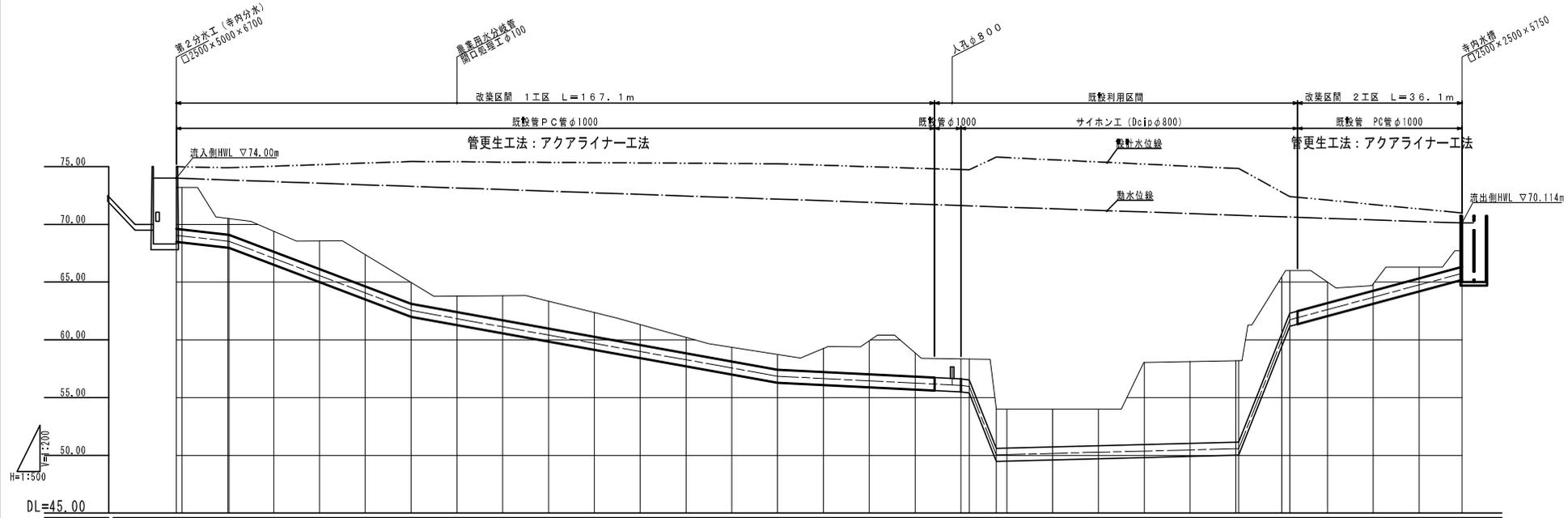
鋼管φ1000  
サイホン工 (Dcipφ800)

既設管PC管φ1000  
管更生工法：アクアライナー工法

工事名 両旗平野用水二期三奈木湯水路改築工事	
名称	計画平面図
登録番号 R1N-230-007	整理番号 M1-Pa-06-M10003
独立行政法人 水資源機構 両旗平野用水総合事業所	

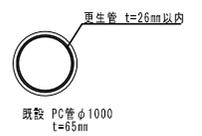
# 計画縦断面図

V=1:200  
H=1:500



設計条件	L=26.2m 土かぶり=3.6m 設計水圧=8.8m 群集荷重3.0kN/m <sup>2</sup> 管厚9mm	L=30.0m 土かぶり=3.2m 設計水圧=13.2m 自動車荷重I-25 管厚9mm	L=96.0m 土かぶり=2.5m 設計水圧=18.5m 群集荷重3.0kN/m <sup>2</sup> 管厚9mm	L=7.1m 土かぶり=2.4m 設計水圧=18.5m 自動車荷重I-25 管厚9mm	L=16.2m 土かぶり=3.5m 設計水圧=18.7m 群集荷重3.0kN/m <sup>2</sup> 管厚9mm	L=10.1m 土かぶり=3.7m 設計水圧=10.7m 自動車荷重I-14 管厚9mm	L=27.5m 土かぶり=1.5m 設計水圧=9.2m 群集荷重3.0kN/m <sup>2</sup> 管厚9mm
設計水圧	5.840	6.360	16.332	18.399	18.651	24.266	6.589
設計水位	74.988	74.903	75.414	75.272	74.816	74.833	70.987
勾配							
土かぶり高	3.83	1.40	1.76	1.22	1.65	3.39	1.41
管中心高	68.594	68.543	61.125	57.563	56.165	50.570	65.150
地盤高	73.18	70.50	62.194	59.700	58.275	55.162	67.72
追加距離	548.780	560.270	610.000	670.000	710.000	780.000	824.341
単距離	0.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000
測点	+48.780	+60.270	+70.000	+80.000	+90.000	+100.000	+110.000
曲線							
追加距離	0.000	10.000	20.000	30.000	40.000	50.000	60.000
単距離	0.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000
測点	1区 NO.0	+10.000	NO.1	+6.200	+10.000	NO.2	+10.000

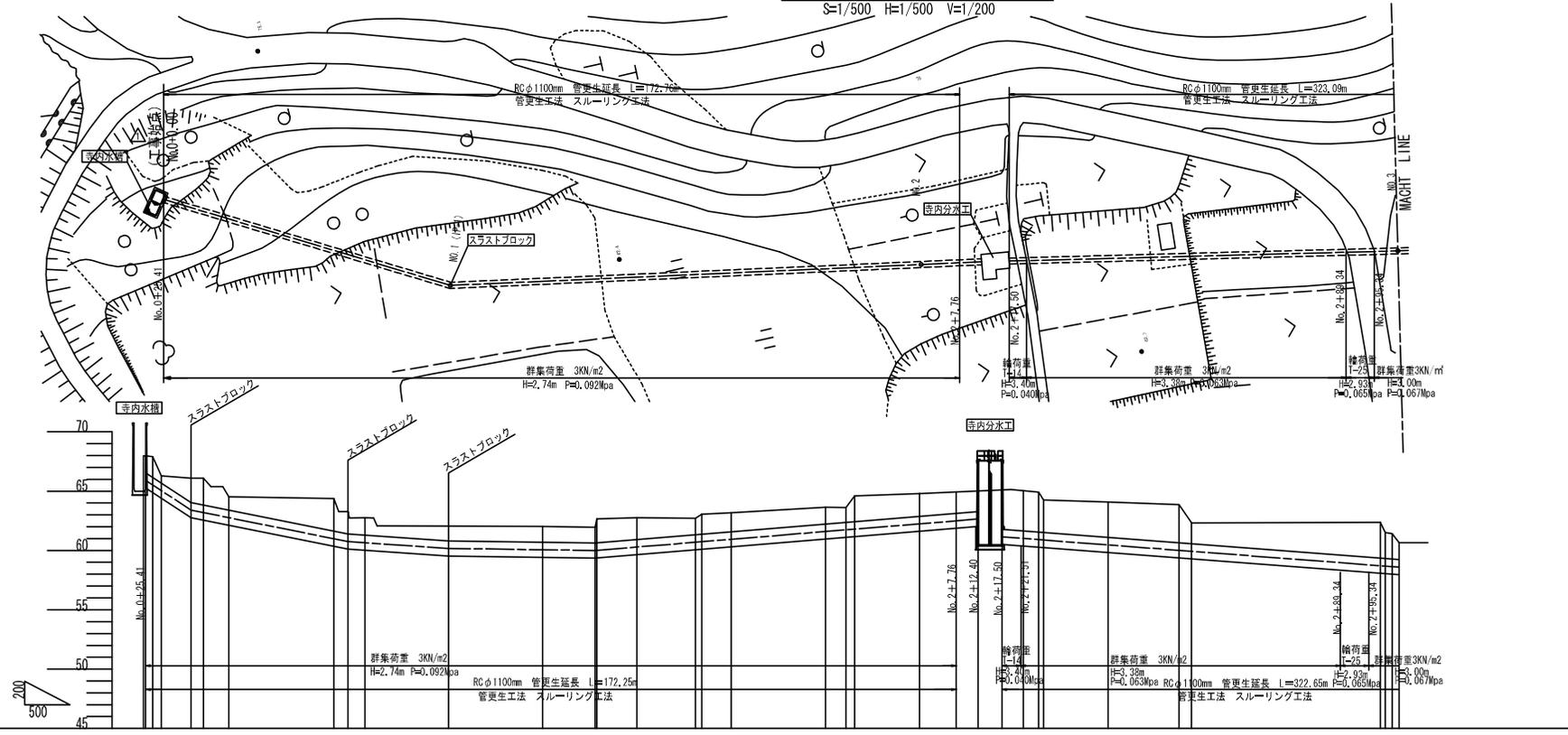
## 更生管標準断面図



注意事項  
1. 勾配の表記は、特に示さない限り標高はmとし、その単位とする。  
2. 勾配位置は、管更生延長は既設管の継ぎ手部分に付して管厚変更を行うものとする。  
3. 本工事に使用する測点は管理測点(測点間隔2.0m)とする。

# 計画平面・縦断面図 (1/2)

S=1/500 H=1/500 V=1/200

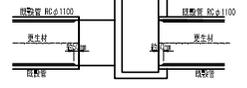


- 注意事項**
1. 寸法の規格は、特に示さない限り欄高はmとし、その他はmmとする。
  2. 図面内の延長は、端部処理を考慮した管更生延長であり、管実延長とは一致しない。
  3. 更生管延長は、端部処理数量を除いたものとする。

端部処理詳細図 (寺内水箱)



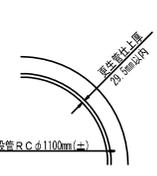
端部処理詳細図 (寺内分水)



更生管標準断面図



更生管標準断面図

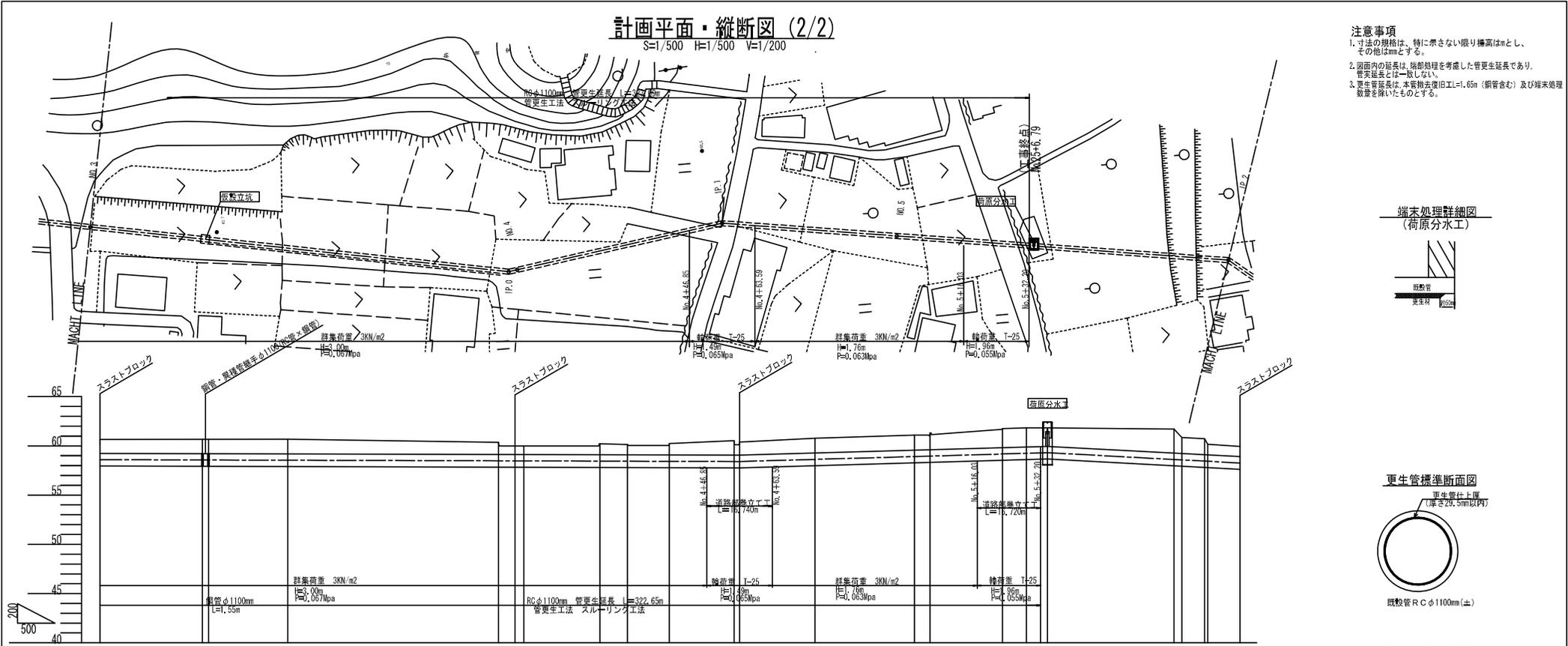


水位													
勾配													
現況管種・管径	RC2Xφ1,100 SL=177.46m												
現況管中心高	65.900	65.900	65.900	65.900	65.900	65.900	65.900	65.900	65.900	65.900	65.900	65.900	65.900
現況地盤高	67.982	67.982	67.982	67.982	67.982	67.982	67.982	67.982	67.982	67.982	67.982	67.982	67.982
土被り	1.44	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37	1.37
追加距離	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950
単距離	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950	24,950
測点	+24,950	+24,950	+24,950	+24,950	+24,950	+24,950	+24,950	+24,950	+24,950	+24,950	+24,950	+24,950	+24,950
工事測点	No.0	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12
曲線	IA=19° 57' 20"												

当初設計	第1回変更
承認	中村博
調査担当	花光勉
設計担当	山崎宣之
統括監督職員	中村博
主任監督職員	鎌田修
監督職員	福田暁
工事名	両筑二期寺内幹線水路原工区改築その1工事
名称	計画平面・縦断面図 (1/2)
登録番号	R1N-230-038
整理番号	T-N1A-08-002
独立行政法人 水資源機構 両筑平野用水総合事務所	

# 計画平面・縦断面図 (2/2)

S=1/500 H=1/500 V=1/200



- 注意事項**
1. 寸法の規格は、特に示さない限り標準とし、その他はmmとする。
  2. 図面内の延長は、端部処理を考慮した管更生延長であり、管実延長とは一致しない。
  3. 更生管延長は、本資料去旧工L=1.65m (鋼管含む) 及び端部処理取巻を除いたものとする。

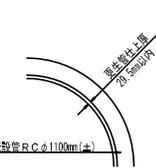
端部処理詳細図 (荷原分水工)



更生管標準断面図 (厚さ20.5mm以内)



更生管標準断面図



水位																															
勾配																															
現況管種・管径	RC2Kφ1,100 SL=324.74m 荷原分水工 RC2Kφ1,100 SL=515.45m																														
現況管中心高	58.600		58.541		58.475	58.470	58.467		58.444		58.421		58.400		58.600		58.911	58.955		59.108		59.228	59.270	59.300		59.618	59.518		59.457		59.281
現況地盤高	60.845		60.655		60.559	59.998	59.467		60.208	60.148	60.424		60.228	60.228	60.770		61.100	61.510		61.747	61.833	61.940		61.710	60.940		61.710	60.764		59.954	
土被り	1.41		1.49		1.25	0.89	0.88		1.13	1.08	1.34		1.17	1.24	1.51		1.55	1.72		1.54	1.56	1.68		2.46	1.63		1.68		1.06		
追加距離	291.500		338.600		390.50	397.76	400.00		419.50	426.50	487.20		453.22	453.22	474.50		500.00	503.94		522.50	528.00	532.00		566.39	568.39		574.00	574.00		593.35	
単距離	1.500		48.100		55.900	4.26	2.24		16.500	7.00	10.70		16.42	16.42	18.28		25.500	3.94		16.500	6.10	1.80		32.39	2.00		8.80	8.80		8.35	
測点	No.13		+49.600		-49.500	IP.0	WL.4		+19.500	-49.500	+37.200		-49.500	-49.500	74.500		No.5	-43.94		-42.500	-42.600	-42.600		+66.39	+68.39		+74.00	+74.00		IP.2	
工事測点	No.13		No.14		No.15	No.16		No.17	No.18		No.19		No.20	No.21		No.22		No.23		No.24	No.25		No.26	No.27		No.28	No.29		No.30		
曲線	<p>IA=14° 44' 12"      IA=12° 12'      IA=33° 12' 52"</p>																														

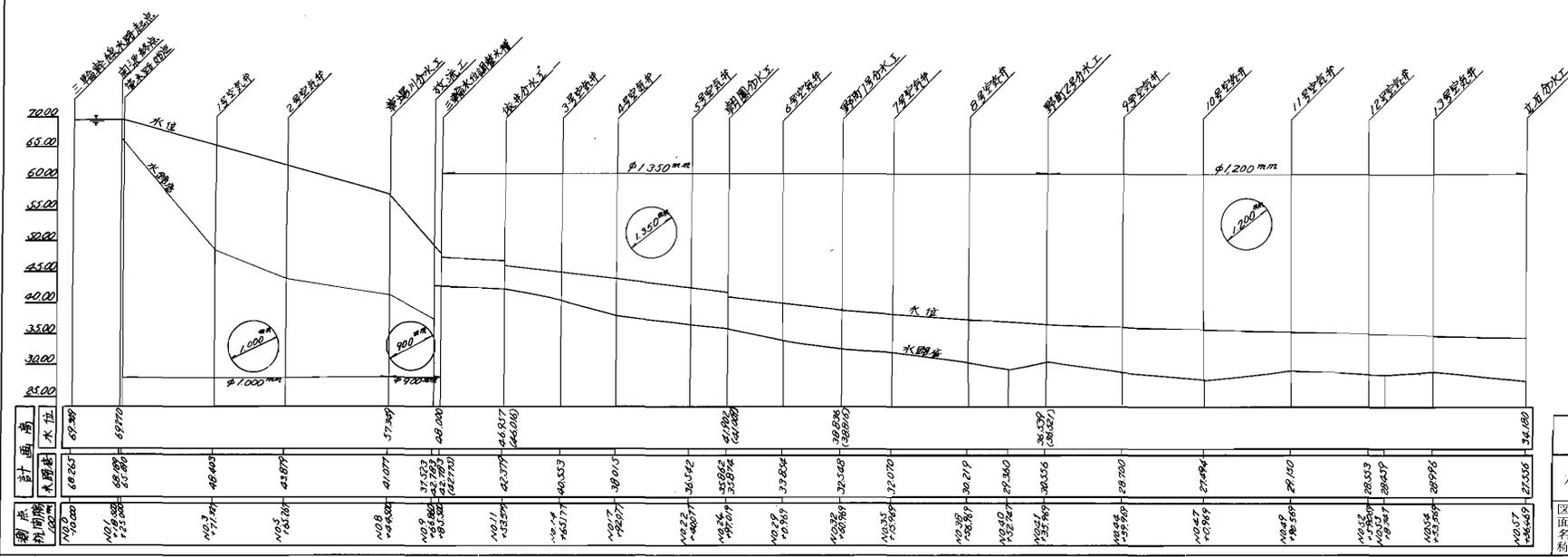
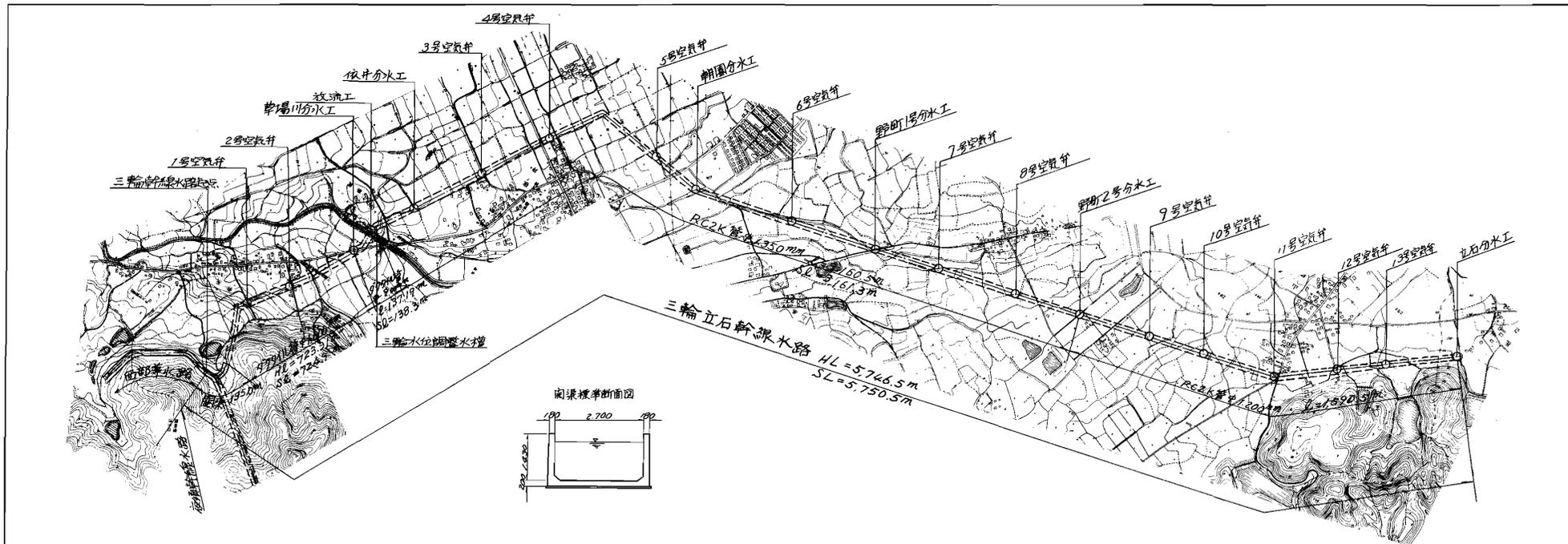
当初設計	第1回変更
承認担当	中村博岩
審査担当	花光勉
設計担当	山崎宣之
統括監理職員	中村博岩
主任監理職員	藤田修
監理職員	福田 暁

工事名 東第二期寺内幹線水路新原工区改築その1工事

名称 計画平面・縦断面図 (2/2)

登録番号 R1N-230-038      整理番号 T-N1A-08-003

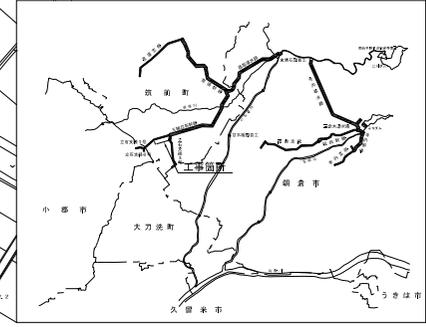
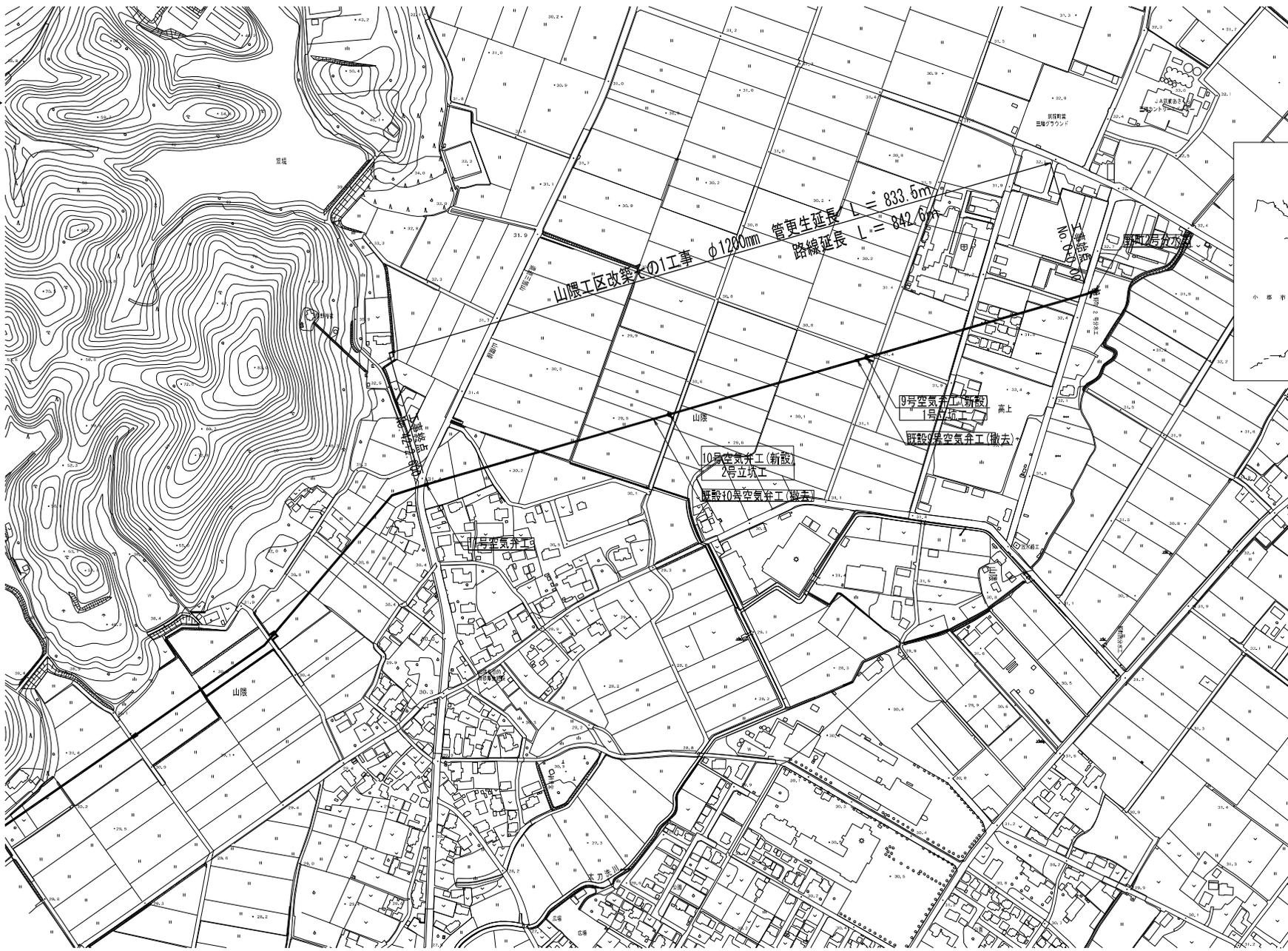
独立行政法人 水資源機構 両岸平野用水総合事務所



注意事項  
 1. 水路管径(管径)及管径中心位置表示してある。  
 2. 水位管口周りに水面標高を水路全水路に標示してある。

両筑平野用水事業	図番	147
水路工	一般図	
図面名称	三輪立石幹線水路 一般平面縦断面図	

両筑二期三輪立石幹線水路山隈工区改築その1工事位置図 S = 1 : 2,500

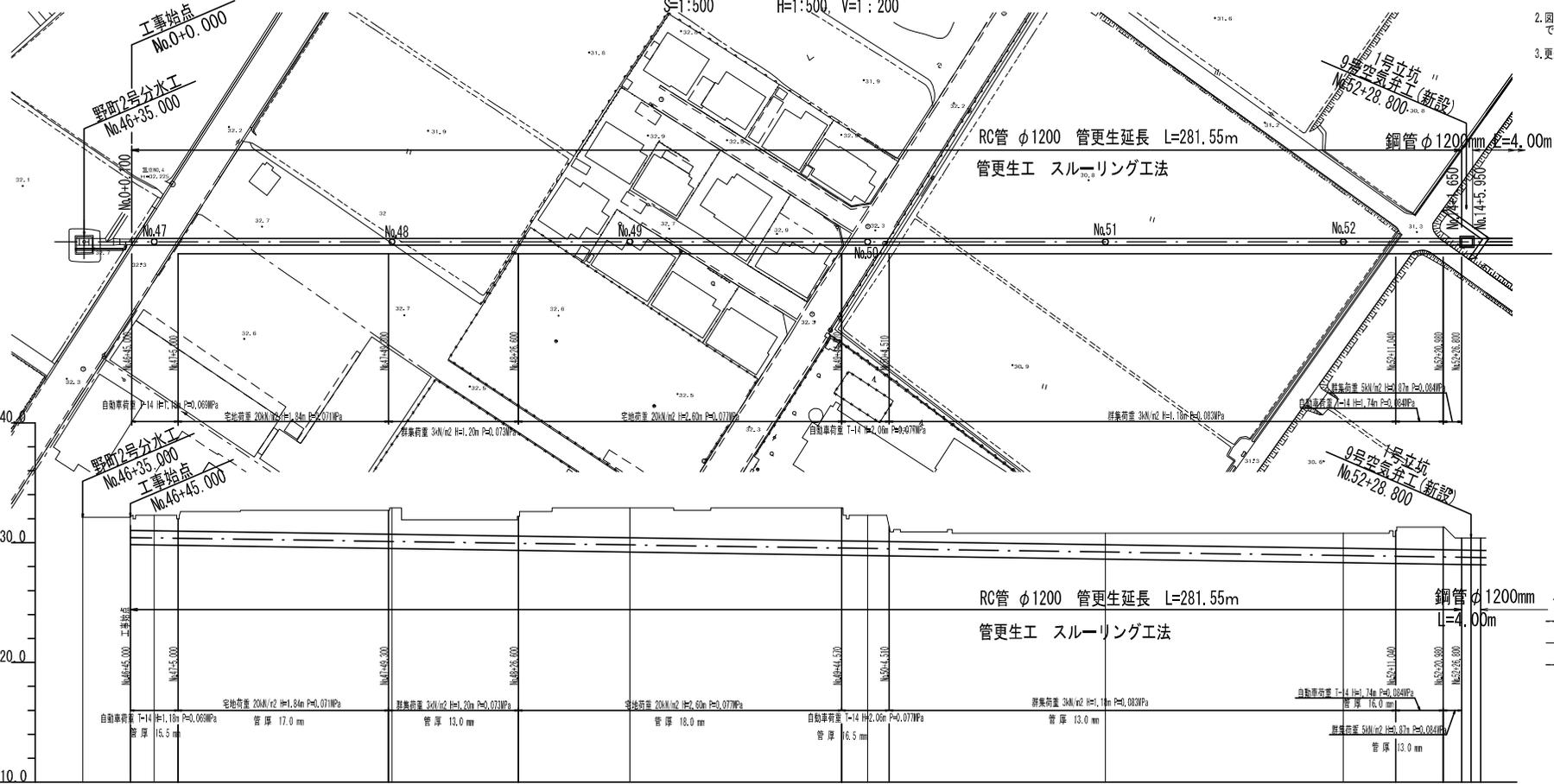


	当初設計	第1回変更
承 認 者	中村博	中村博
審 査 担 当	園田哲夫	花光勉
設 計 担 当	黒木智之	福田暁
総括監督職員	中村博	中村博
主任監督職員	鶴田修	神谷正志
監 督 職 員	福田暁	福田暁

工事名	両筑二期三輪立石幹線水路山隈工区改築その1工事	
名 称	位 置 図	
登録番号	R1N-230-024	整理番号 MI-Pa-08-YmA0001
独立行政法人水資源機構 両筑平野用水総合事業所		

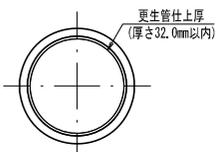
# 計画平面・縦断図 (1/4)

S=1:500 H=1:500 V=i: 200



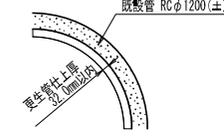
- 注意事項**
1. 寸法の規格は、特に示さない限り標高は (m) とし、その他は (mm) とする。
  2. 図内延長表記は、端部処理を考慮した管更生延長であり、管実延長とは一致しない。
  3. 管更生延長は、端部処理数量を除いたものとする。

## 更生管標準断面図

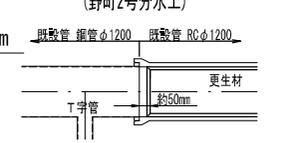


既設管 RCφ1200(±)

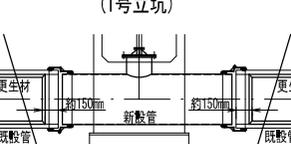
## 更生管断面詳細図



## 端末処理詳細図 (野町2号分水)



## 端末処理詳細図 (1号立坑)



動水位	36.206	36.274	36.223	36.104	36.108	36.118	36.112	36.107	36.056	36.000	35.987	35.976	35.971																							
勾配	30.429	S=0.0058824 (1/170) SL=294.005																																		
現況管中心	30.429	30.400	30.106	29.812	29.518	29.224	28.929	28.784	28.490	28.195	27.900	27.605	27.310																							
現況地盤高	32.100	32.300	32.700	32.900	33.000	33.200	33.400	33.600	33.800	34.000	34.200	34.400	34.600																							
追加距離	0.000	5.000	55.000	105.000	155.000	205.000	255.000	281.000	281.000	281.000	281.000	281.000	281.000																							
短距離	0.000	5.000	50.000	50.000	50.000	50.000	50.000	50.000	50.000	50.000	50.000	50.000	50.000																							
測点	野町2号 No.46+35.000	野町2号 No.46+45.000	No.47	No.48	No.49	No.50	No.51	No.52	No.53	No.54	No.55	No.56	No.57																							
曲線																																				
管理測点	追加距離	0.000	5.000	10.000	20.000	30.000	40.000	50.000	60.000	70.000	80.000	90.000	100.000	110.000	120.000	130.000	140.000	150.000	160.000	170.000	180.000	190.000	200.000	210.000	220.000	230.000	240.000	250.000	260.000	266.040	270.000	275.000	280.000	281.000		
	単距離	0.000	5.000	5.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000
	管理測点	野町2号 No.46+35.000	野町2号 No.46+45.000	No.47	No.48	No.49	No.50	No.51	No.52	No.53	No.54	No.55	No.56	No.57	No.58	No.59	No.60	No.61	No.62	No.63	No.64	No.65	No.66	No.67	No.68	No.69	No.70	No.71	No.72	No.73	No.74	No.75	No.76	No.77	No.78	No.79

4-2

	当初設計	第1回変更
承認者	中村博	中村博
審査担当	園田哲夫	花光勉
設計担当	黒木智之	福田暁
総括監督職員	中村博	中村博
主任監督職員	鶴田修	神谷正志
監督職員	福田暁	福田暁

工事名 両沢三期立石幹線水路山隈工区改築その1工事

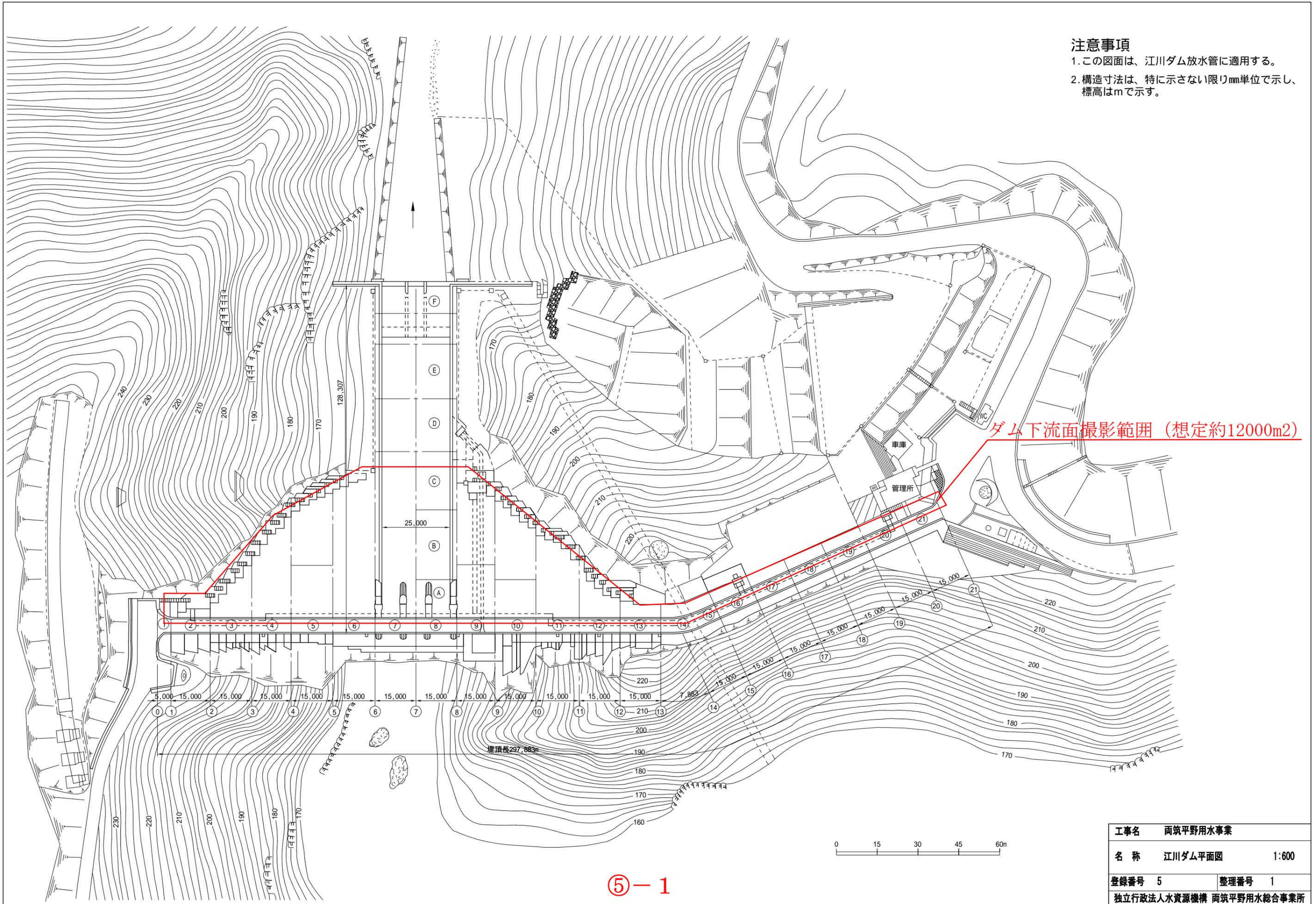
名称 計画平面・縦断図 (1/4)

登録番号 R1N-230-024 整理番号 WT-Pa-08-mA0002

独立行政法人水資源機構 両沢三期用水総合事業所

**注意事項**

1. この図面は、江川ダム放水管に適用する。
2. 構造寸法は、特に示さない限りmm単位で示し、  
標高はmで示す。

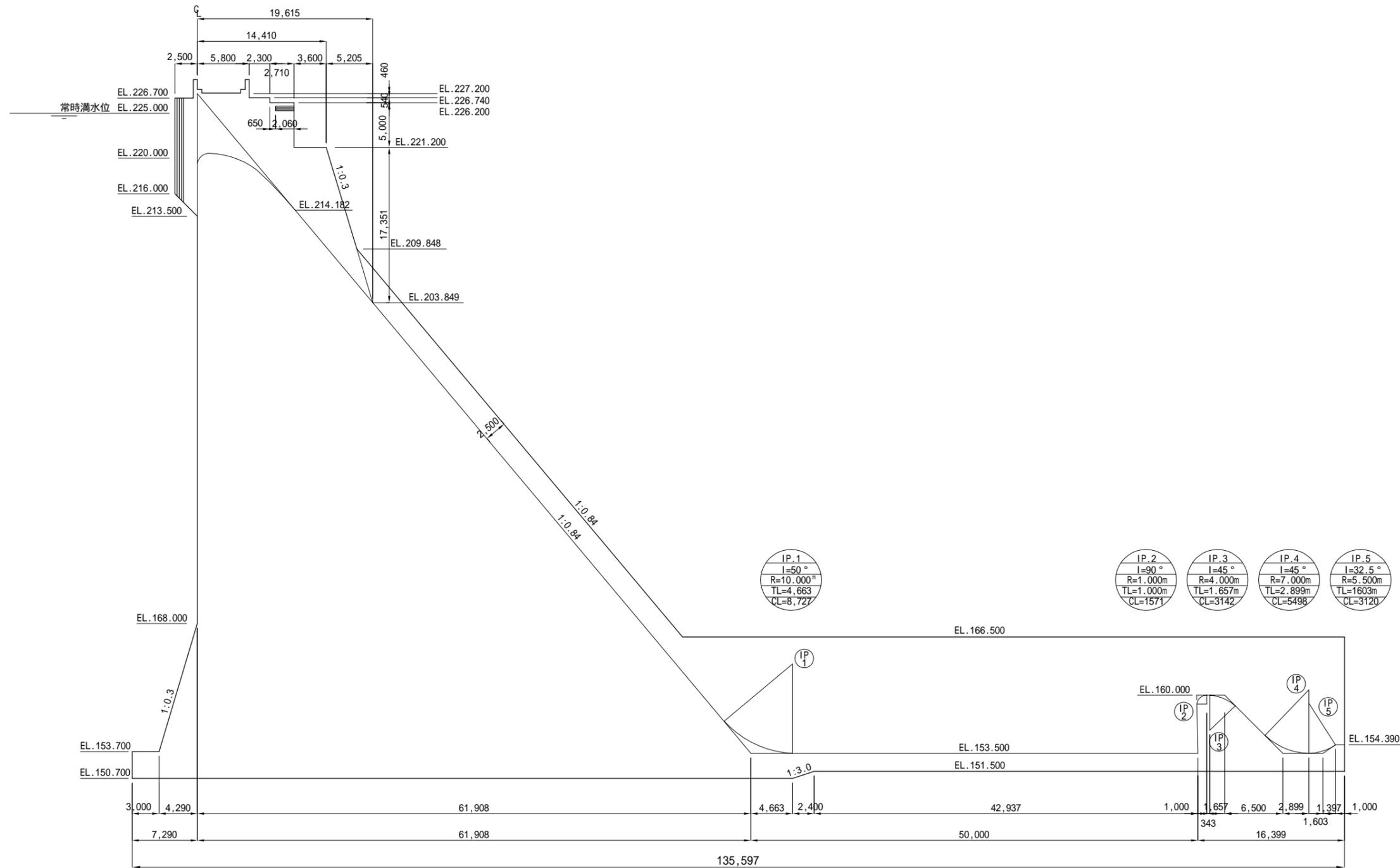


⑤-1

工事名	両筑平野用水事業	
名称	江川ダム平面図	1:600
登録番号	5	整理番号 1
独立行政法人水資源機構 両筑平野用水総合事業所		

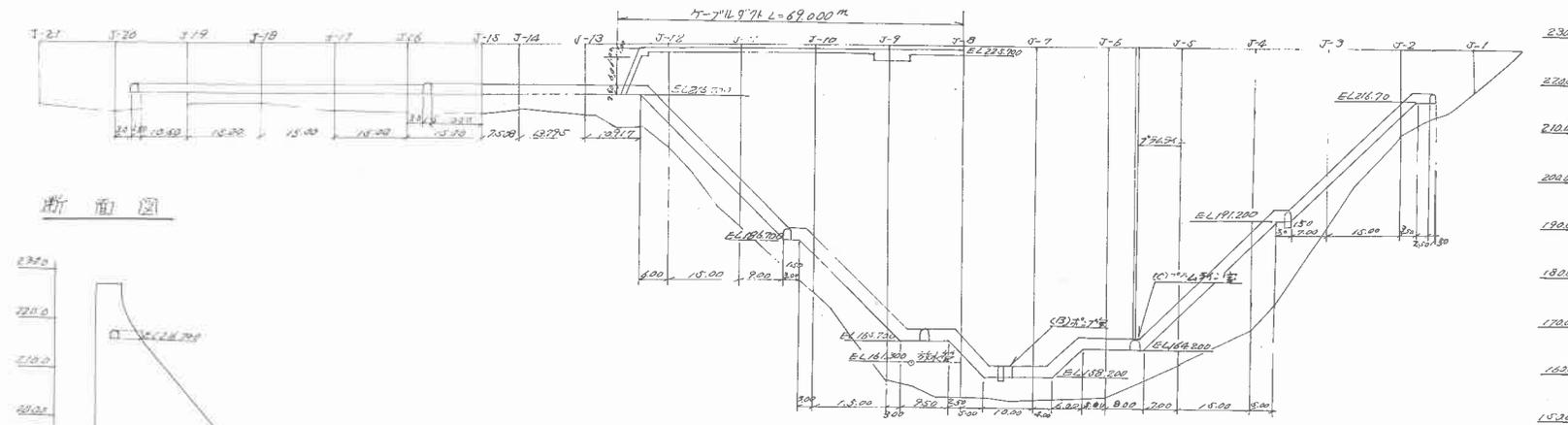
**注意事項**

1. この図面は、江川ダム放水管に適用する。
2. 構造寸法は、特に示さない限りmm単位で示し、標高はmで示す。

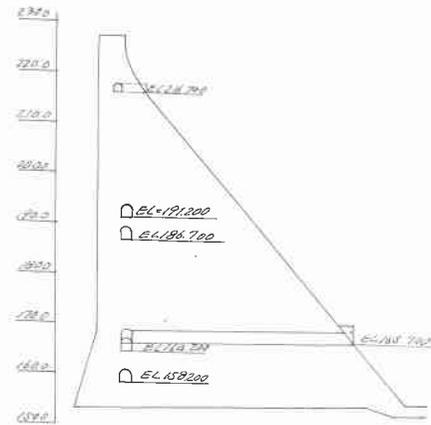


工事名	両筑平野用水事業	
名称	江川ダム標準断面図	1:250
登録番号	6	整理番号 2
独立行政法人水資源機構 両筑平野用水総合事業所		

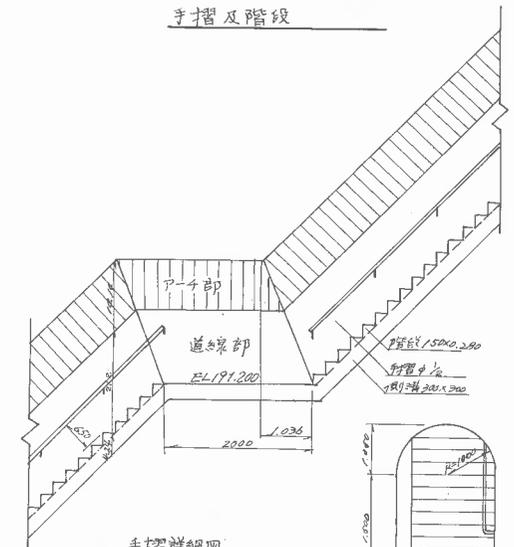
背面図



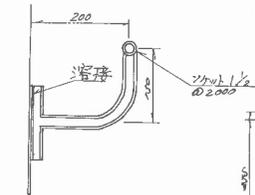
断面図



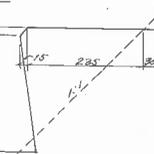
手摺及階段



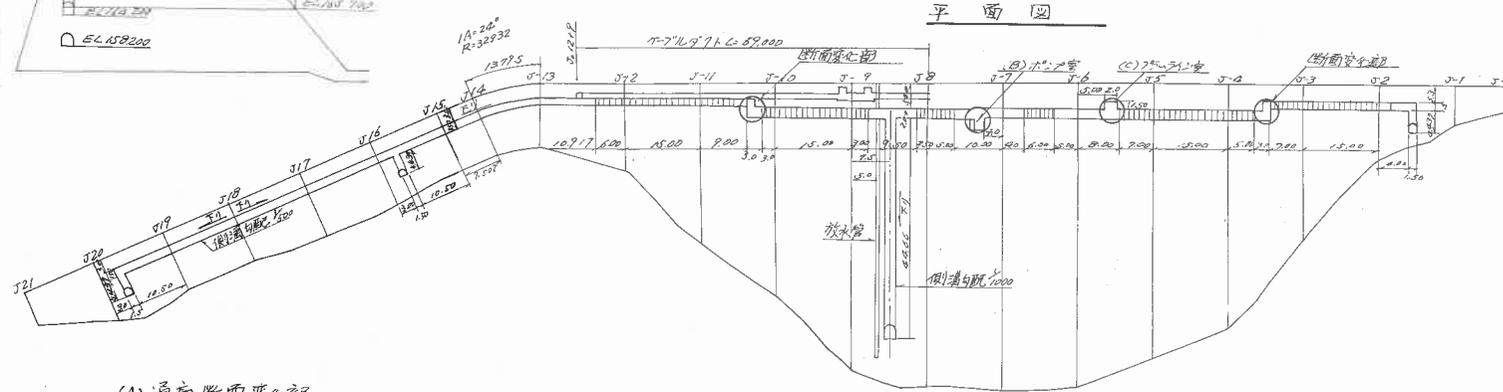
手摺詳細図



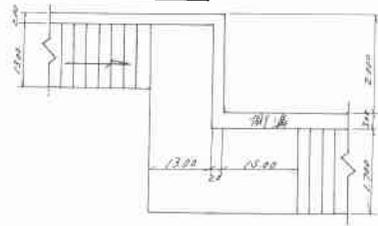
階段詳細図



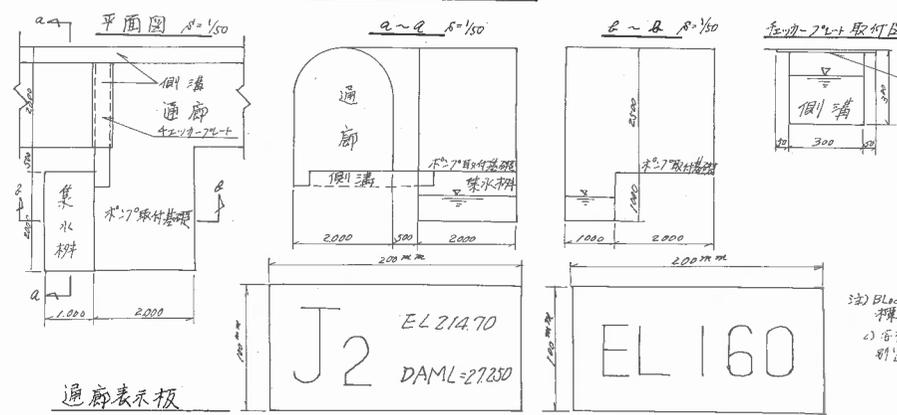
平面図



(A) 通廊断面変化部  
平面図



(B) ポンプ室詳細図



通廊表示板

1/50

J2 EL 214.70  
DAML=27230

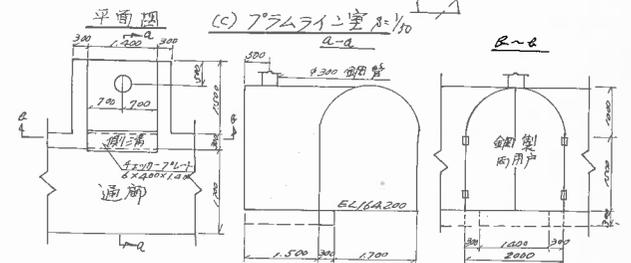
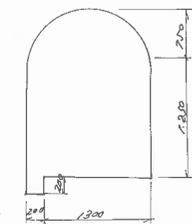
BLOCK標高板

標高標高板

EL 160

① Block標高板(24枚)  
標高板(18枚)  
② 各標高板位置は201218  
別添付です

小型通廊標準図



両筑平野用水事業 図番 19

江川ダム 監査廊

図面名称  
通廊一般図